

3 教育目標の具体策等

目標設定委員会では、人生各期にわたる教育目標及び達成目標の達成を図るために、
具体策の策定並びに、目標達成の場とそのかかわりについて明らかにした。

教 育 目 標 人生各期にわたる達成目標を集約して設定した。

(1) 目標達成の時期 人が成長していく各段階には、その時に身につけなければなら
ない能力とか、その時に果たさなければならない課題がある。こ
のような考えに基づき目標達成の適期を設定した。

(2) 達 成 目 標 教育目標の達成を図るための具体的な目標である。

タ イ プ 達成目標を調査結果との関連から、次の五つのタイプに整理し
た。

A タイプ………市民の意識が高く、実態も高いタイプで、さらに努力を継続
していくことが望ましいと考えられるもの。

B タイプ………市民の意識は高いが、実態は低いタイプで、市民の実態を高
めたいと考えられるもの。

C タイプ………市民の意識は低いが、実態は高いタイプで、市民の意識を高
めないと実態も低くなる可能性があるもの。

D 及び E タイプ………D タイプは、市民の意識が低く、実態も低いタイプで、
E タイプは、市民の意識と実態について、特に特徴が認められ
なかつたタイプであるが、共に将来を見通したとき、市民の意
識と実態を高める必要のあるもの。

(3) 具 体 策 教育目標及び達成目標の達成を図るために、具体的な施策等を
設定した。

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

教育目標及び達成目標を達成するために、家庭、学校、地域、
職場、市行政等の教育の場が、どのような役割を担うべきかを明
らかにし、さらに、中核となる教育の場とそれを支える教育の場
とのかかわりを明らかにした。

I. 足利市の教育目標

教育目標番号 1

郷土の自然や文化に親しみ、その保護・発展に努める。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 努めて自然に接し、それを大切にすることができます。
B	2 郷土の歴史について、関心をもつことができます。
B	3 郷土の伝統的行事に関心をもち、参加することができます。
B	4 郷土の文化財を大切にすることができます。
D	5 高齢者の豊かな体験に学び、これを生かすことができます。

(3) 具体策

- 郷土足利の自然や文化についてポスター、作文などで啓発
- 地域の社会的行事の開催と家族ぐるみでの参加
- 文化財めぐりの実施と参加（足利学校の見学等）
- 文化財周辺の美化活動への参加
- 名草キャンプ場における夏期教育キャンプの開設
- 野外教育施設の整備と活用
- 郷土の自然や歴史文化についての郷土学習の充実
- 「足利ふる里いろいろかるた」の活用

(4) 目標達成の場とそのかかりわり（教育機能連関）

- 学校では、地域の自然や文化を積極的に学習に取り入れて、その理解を図るように努める。
 - 家庭では、地域社会の諸行事に興味・関心をもち、進んで参加する。
 - 地域では、郷土の自然や文化の理解に触れる機会を多くする。
- ◎ 学校を中心として、家庭や地域との連携を図りながら、自然や文化の保護・発展に努める。

教育目標番号 1

郷土の自然や文化に親しみ、その保護・発展に努める。

(1) 目標達成の時期

[青年期]

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 郷土の自然に親しみ、それを愛護することができる。
B	2 郷土の歴史について、学ぶことができる。
B	3 郷土の伝統的行事を理解し、積極的に参加することができる。
B	4 郷土の文化財に誇りをもち、それを大切にすることができる。
D	5 高齢者の豊かな体験に学び、これを生かすことができる。

(3) 具体策

- 自然に親しむ各種行事の実施と参加
- 郷土の文化財調査や発掘調査への参加
- 文化祭などの文化事業の開催と参加
- 文化財めぐりの実施と参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、教育活動の中に地域の自然や文化に親しむ活動を積極的に取り入れ、それらを大切にする態度を育てる。
- 地域では、郷土の自然、文化財保護のための運動を推進する。
- 家庭では、郷土の自然や文化に親しませるとともに、それを大切にする態度を育てる。

- 学校と地域を中心として、家庭との連携を図りながら、自然や文化の保護・発展に努める。

教育目標番号 1

郷土の自然や文化に親しみ、その保護・発展に努める。

I. 足利市の教育目標

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 郷土の自然に親しみ、それを愛護することができる。
B	2 郷土の伝統的行事を継承し、その発展に努めることができる。
B	3 郷土の文化財を尊重し、その保護、継承に努めることができる。

(3) 具体策

- 自然に親しむ各種行事の実施と参加
- 緑の量を多くし、快適な環境確保のための「緑のマスター・プラン」の推進
- 民俗文化財の収集、保存、無形文化財の記録保存と後継者の育成
- 文化祭などの多彩な文化事業の推進
- 郷土の文化財などを市民に公開できる博物館の建設推進
- 文化財めぐりの実施と参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 社会教育機関では、文化財めぐり、郷土学習、文化財愛護思想の啓発、民俗芸能の後継者育成などに努める。
 - 地域では、その地域の自然や文化に対する理解を深める催しを企画し、その発展に努める。
 - 家庭では、郷土の自然や文化に触れ、理解を深める機会を多くもつよう努める。
- ◎ 社会教育機関を中心として、家庭や地域との連携を図りながら、自然や文化的保護・発展に努める。

教育目標番号 1

郷土の自然や文化に親しみ、その保護・発展に努める。

(1) 目標達成の時期

高齢期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 郷土の自然に親しみ、それを愛護することができる。
B	2 郷土の伝統的行事を若い世代に伝えることができる。
B	3 郷土の文化財を尊重し、その維持、継承に努めることができる。

(3) 具体策

- 郷土の自然を愛する心の伝承
- 文化財に関する高齢者学級の開設と参加
- 民俗芸能の後継者育成と保存
- 地域の伝統的行事の開催

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 社会教育機関では、郷土の自然や文化について、体験から得た知識などを、若い人たちに伝える場を設ける。
- 地域では、民俗芸能の後継者育成と保存に努める。
- 家庭では、郷土の自然や文化を子孫に伝える場を設ける。

- 社会教育機関と地域を中核として、家庭との連携を図りながら、自然や文化の保護・発展に努める。

教育目標番号 2

動植物を愛し、自然に親しむ豊かな心を養う。

(1) 目標達成の時期

乳幼児期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
A	1 生きものをかわいがることができる。
B	2 喜んで自然に接し、自然の事物を利用して遊ぶことができる。
C	3 山・川・気象・天体などの自然の事象に、驚きや親しみを感じることができる。

(3) 具体策

- 自然を利用した施設の整備と利用

- 自然の中で遊ぶ指導の強化
- 動植物の飼育栽培の推進
- 生命尊重に関する指導の充実

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、親子ハイキング・家族キャンプなど、自然の中での活動を積極的に取り入れる。
 - 家庭では、生きものや自然を大切にする実践的態度の育成を図る。
 - 幼稚園や保育所などでは、動植物を愛する実践的態度の育成を図る。
 - 地域では、地域で行う行事を通して自然愛護の意識を高める。
- 家庭を中心として、地域や幼稚園、保育所などとの連携を図りながら、自然に対する親しみや感謝の心を育てる。

教育目標番号 2

動植物を愛し、自然に親しむ豊かな心を養う。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 生きものを大事にし、生命を尊ぶことができる。
B	2 進んで自然に接し、自然の事物を利用して遊ぶことができる。
D	3 自然に対して、驚きや親しみを感じるとともに、感謝の気持ちをもつことができる。

(3) 具体策

- 動植物の飼育栽培の推進
- 自然を利用した施設の整備と積極的な利用
- 親子ハイキングなどの実施と参加
- 生命尊重に対する指導の強化

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、動植物の飼育やハイキング、キャンプなどを通して、動植物愛護

や自然に親しむ心情を育てる。

- 学校では、学校行事を中心として、自然に親しむ教育を組織的、計画的に行う。
- 地域では、自然に親しみ、自然に接する場と機会を提供する。

- ◎ 家庭を中心として、学校や地域との連携を図りながら、自然に対する親しみや感謝の心を育てる。

教育目標番号 3

自然を敬い、感謝の気持ちを育てる宗教心を養う。

(1) 目標達成の時期

青 年 期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
A	1 宗教について正しい理解と態度をもち、自分の生き方について考えることができる。
B	2 家庭・社会の伝統的宗教行事を理解し、積極的に参加することができる。
D	3 大自然のいとなみに対して畏れ、敬い、感謝の気持ちをもつことができる。

(3) 具体策

- 家庭、社会の伝統的宗教行事の実施と積極的参加
- 自然の恩恵や人間の力を超えたものに対して、目を開かせる教育活動の充実
- 青年の家などの積極的利用

(4) 目標達成の場とそのかかりわり（教育機能連関）

- 学校では、自然を大切にする実践的態度の育成を図る。
- 家庭では、それぞれの家庭にあった宗教的行事の継続と、取り入れを図る。
- 家庭では、親子ハイキング・家族キャンプなど、自然の中での活動を積極的に取り入れる。
- 地域では、地域の宗教的行事の継続と取り入れを図る。

- ◎ 学校を中心として、家庭や地域との連携を図りながら、感謝の気持ちを育てる宗教心を養うように努める。

I. 足利市の教育目標

教育目標番号 3

自然を敬い、感謝の気持ちを育てる宗教心を養う。

(1) 目標達成の時期

壮年期～高齢期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 自然に対する畏敬の念をもち、感謝の気持ちを育てる宗教心を養うことができる。
B	2 家庭や社会の伝統的宗教行事を理解し、進んで行うことができる。
D	3 大自然のいとなみに対して畏れ、敬い、感謝の気持ちをもつことができる。

(3) 具体策

- 地域の自然環境保全の推進
- 自然環境破壊防止運動の推進
- 家庭や社会の伝統的宗教行事の実施と参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 地域では、自然を大切にする運動を推進する。
- 地域では、伝統的宗教行事などの継承を促進する。
- 家庭では、それぞれの家庭にあった宗教的行事の継承を図る。
- 家庭では、家族キャンプ・家庭菜園などの自然の中での活動を積極的に取り入れる。

- ◎ 地域を中心として、家庭との連携を図りながら、感謝の気持ちを育てる宗教心を養うように努める。

教育目標番号 4

いろいろな運動を楽しみ、体力を身につける。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 歩いたり、走ったり、跳んだりして身体を動かして体力をつける。
B	2 体操などの運動によって、身体を柔らかくすることができます。
C	3 ボール運動などによって、素早く身体を動かすことができる。
D	4 水に親しんで浮いたり、泳いだりすることができる。
B	5 自転車を上手に乗ることができます。
D	6 ゲームなどの遊びによって体力をつける。
C	7 簡単なスポーツに親しむことができる。
B	8 スポーツを通して強い意志力を養うことができる。

(3) 具体策

- 学校体育の充実と生活化の推進
- 運動施設、設備の充実と活用
- 社会体育の推進と積極的参加
- フィールドアスレチック、運動公園などの積極的利用
- いろいろな運動の指導者の養成
- 家庭で楽しむ体力づくりの実践
- 健康診断やスポーツテストなどの計画的な実践と活用

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、めあてをもって運動することを意図的、計画的に指導する。
- 地域では、運動できる環境を整え、社会体育の推進を図る。
- 家庭では、家族ぐるみで運動をし、運動の楽しさを知る。

- 学校を中心として、家庭や地域との連携を図りながら、体力向上に努める。

教育目標番号 5

スポーツを通して心身を鍛え、自らの健康管理ができる。

(1) 目標達成の時期

青年期

I. 足利市の教育目標

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
A	1 自分の健康について、自分自身で管理することができる。
A	2 自分の能力に適したスポーツを選び、継続して楽しむことができる。
C	3 自分の身体の発育・発達の様子を正しく知ることができる。
B	4 望ましい連帯感や協調性を身につけることができる。
B	5 フェアプレーの精神と粘り強さを身につけることができる。

(3) 具体策

- 地域のスポーツ施設の整備促進と指導者の養成
- 地域住民のスポーツ活動の場として、小中学校の夜間開放の促進
- 日本伝統スポーツの振興と武道館の建設の推進
- 生涯を通して体育的活動に親しめる実践力の育成
- 各種のスポーツサークルや行事への積極的参加
- 「けんこうだより」の定期的発行による啓発
- 健康診断やスポーツテストの計画的な実施と活用

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、教育活動全体を通して、心身を鍛えることを意図的、継続的に指導する。
 - 市では、体育施設の利用や開放を進める。
 - 市では、日本伝統スポーツの振興と武道館の建設を推進する。
 - 市では、スポーツサークルや各種体育行事への参加を呼びかける。
 - 家庭では、家族ぐるみのスポーツを楽しむとともに、お互いの健康に注意合う。
-
- 学校と社会体育機関を中心として、家庭との連携を図りながら心身を鍛え、自らの健康管理ができるように努める。

教育目標番号 6

スポーツ、レクリエーションに親しみ、健康の増進に努める。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 健康状態を知り、注意して生活することができる。
B	2 継続して健康の保持増進に努めることができる。
B	3 病気の予防に努め、毎日を健康に過ごすことができる。
B	4 健康な生活をおくるために正しい食生活を営むことができる。
B	5 自分の体力に適した運動を選んで行うことができる。
B	6 自分の能力に適したスポーツを楽しむことができる。

(3) 具体策

- スポーツ教室、レクリエーションなどの助長と積極的参加
- 壮年体力テストの実施と積極的参加
- 地域のスポーツ施設の整備促進と指導者の養成
- 学校体育施設の地域住民への開放
- 家庭で楽しむ体力づくりの普及
- 成人病検査の積極的な受診
- 総合医療体制の整備拡充の促進
- 正しい食生活改善のための研修活動の促進
- 「けんこうだより」の定期的発行

(4) 目標達成の場とそのかかりわり（教育機能連関）

- 市では、成人病予防の積極的推進を図る。
- 市では、スポーツをする場の提供と普及振興を図る。
- 家庭では、スポーツ教室、レクリエーション活動などに積極的に参加する。
- 地域では、食生活改善の学習をする。
- 職場では、スポーツクラブの助成を図る。

- 社会体育機関を中心として、家庭や職場との連携を図りながら、健康の増進に努める。

教育目標番号 7

健康・安全に必要な基本的生活習慣や態度を身につける。

(1) 目標達成の時期

乳幼児期

I. 足利市の教育目標

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 食事の仕方を身につけ、好き嫌いをしないで食事をすることができる。
A	2 不潔なものの区別ができる、ハンカチ、手ぬぐいなどは自分の物を使うことができる。
C	3 身体、衣服、持ち物などを清潔に保つことができる。
B	4 便所を上手に使うことができる。
B	5 治療をいやがらずに受けることができる。
D	6 歩くとき、腰かけるとき、本を見るときなどそれぞれにあった正しい楽な姿勢をとることができる。
B	7 戸外で元気に遊ぶことができる。
B	8 いろいろな方法で、歩く、走る、投げる、跳ぶ、押すなどの運動をして遊ぶことができる。
B	9 いろいろな運動施設、器具を進んで使うことができる。
B	10 交通の規則を守り、安全に行動できる。
D	11 遊びのきまりを使って、安全に遊ぶことができる。
D	12 危険な物や危険な場所などの区別ができる。
A	13 見知らぬ人にはついていかない。

(3) 具体策

- 食事に関する指導
- 保健、衛生に関する指導
- 固定遊具の安全な使い方の指導
- 遊具や危険な場所の安全点検と管理
- 交通安全指導の強化
- 避難訓練の定期的実施
- 戸外での積極的な遊びの推進
- 生活の中で危険から身を守る指導の徹底

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、健康安全に関するしつけの徹底を図る。
- 家庭では、乳幼児との共遊の機会をもち、健康増進を援助する。
- 幼稚園、保育所などでは、健康安全に関する基本的態度の育成に努める。
- 医師、保健婦等専門家は、乳幼児の健康について助言、協力、援助する。
- 警察官、交通指導員、地域の人々の協力により、交通安全やその他の安全についての対応ができるようにする。

- ◎ 家庭を中心として、幼稚園、保育所などとの連携を図りながら、専門家や地域の協力を得て、健康・安全に関するしつけの徹底に努める。

教育目標番号 7

健康・安全に必要な基本的生活習慣や態度を身につける。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 早寝、早起きなど簡単な健康法を身につけて、規則正しい生活をすることができる。
A	2 生活の中で危険な物や場所について正しい判断をすることができる。
A	3 交通安全を考え、身を守ることができる。
D	4 歩くとき、腰かけるとき、本を見るときなど、それぞれに合った正しい楽な姿勢を考え、進んでとることができる。
B	5 食事の仕方を身につけ、好き嫌いしないで食事をすることができる。
B	6 病気に関心をもち、予防のための実践をすることができる。

(3) 具体策

- 健康診断の定期的実施と事後指導
- 健康・安全な生活態度の習慣化の推進
- 交通安全指導の強化
- 遊具や危険な場所の安全点検と管理
- 食事に関する指導
- 避難訓練の定期的実施
- 生活の中で危険から身を守る指導の徹底

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、健康・安全についての意識を高め、必要に応じて具体的にその場で指導する。
- 学校では、健康・安全について意図的、計画的に指導する。
- 地域では、健康・安全についての意識を高め、環境を整える。

I. 足利市の教育目標

- 警察官・交通指導員による街頭での交通安全指導を行う。
 - 地域では身近な場所の安全点検と事故防止に努める。
- ◎ 家庭と学校を中心として、地域との連携を図りながら、健康・安全についての習慣や態度を育てる。

教育目標番号 8

交通安全のための習慣を身につける。

(1) 目標達成の時期

〔青年期〕

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 交通安全を考え、身を守ることができる。
B	2 交通の規則を守り、正しい道路の歩行や横断ができる。
B	3 自転車、オートバイ、自動車の正しい運転ができる。
B	4 幼児や老人に対し、安全への配慮をすることができる。

(3) 具体策

- 交通安全教育の充実、強化
- 市民総ぐるみ交通安全運動の実施と積極的参加
- 交通安全に関する広報活動の推進

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、交通安全教育について意図的・計画的に指導する。
 - 家庭では、交通安全について、機会あるごとに話し合う。
 - 地域では、交通安全についての意識を高め、地域ぐるみで注意し合う。
 - 職場では、安全運転について意図的に指導する。
- ◎ 学校を中心として、家庭や地域、職場との連携を図りながら、交通安全のための指導に努める。

教育目標番号 9

健康・安全な生活環境づくりに努める。

(1) 目標達成の時期

壯年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 産業公害や都市公害に関心をもつように努めることができる。
B	2 街全体の調和を考えた環境美化に努める。
B	3 日常生活の中で危険箇所を知り、安全点検を行い事前に防止することができる。
B	4 各種の安全運動に積極的に参加し、協力することができる。
B	5 心の健康を考えた環境浄化に努める。

(3) 具体策

- 公害問題講座の開設と参加
- 公害モニターの委嘱と公害パトロールの強化
- 公害発生の調査及び防止の指導
- クリーン運動への参加
- 身近な危険箇所の安全点検や事故防止の推進
- 環境整備事業補助金制度の利用促進
- 市民総ぐるみ交通安全運動の実施
- 緑化推進事業の促進
- 青少年の健全育成に関する指導の充実

(4) 目標達成の場とそのかかり (教育機能連関)

- 市では、公害ポスターの募集や渡良瀬川公害の歴史をたずねる見学会などを実施する。
- 市では、緑化、河川をきれいにするなどの諸施策を出し、市民に協力を依頼する。
- 職場では、安全対策に積極的に取り組む。
- 地域では、身近な場所の安全点検と事故防止に努める。
- 地域では、青少年の健全育成を図るために、環境浄化に努める。

I. 足利市の教育目標

- ◎ 市や職場を中核として、地域との連携を図りながら、健康・安全な生活環境づくりに努める。

教育目標番号 10

子供の健康・安全な生活態度を育てる。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
A	1 積極的に戸外で遊ばせたり、運動させたりすることができる。
A	2 遊具や運動具を進んで活用させることができる。
A	3 同年齢の子供と遊ばせるよう努めることができる。
A	4 子供の発育に合った栄養のバランスを考え、調理してやることができる。
B	5 好ききらいなく食べさせるようにすることができます。
B	6 食事、排せつ、睡眠、衣服の着脱、清潔の保持などがひとりでできるよう早い時期からしつけることができる。
B	7 けがや病気（体調の変化）に留意し、適切な処置ができる。
B	8 お年寄りの体験に学び、子供を育てるうえでそれを役立てることができます。

(3) 具体策

- 児童公園、運動公園などの整備と利用
- 健康・安全に関するしつけの徹底
- 乳幼児の保健に関する指導
- 子供の健康・安全に関する高齢者学級と家庭教育学級や婦人学級との交流の促進
- 栄養指導センターの効果的利用の促進
- 保健婦活動の充実強化

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、専門家の指導助言や高齢者の経験に学び、それを生かして子供

の健康・安全のしつけや健康管理に努める。

- 市では、公園、運動場の整備に努め、広く利用を促進する。
- 市では、育児相談、電話相談などを通して、子供の健康について家庭へ働きかける。
- 学校、幼稚園、保育所などでは、基礎体力づくりを充実強化する。
- 学校、幼稚園、保育所などでは、健康・安全指導について家庭に働きかける。

- ◎ 家庭を中心として、市や学校、幼稚園、保育所などとの連携を図りながら、子供の健康・安全な生活態度を育てる。

教育目標番号 11

健康・安全と体力の保持に努める。

(1) 目標達成の時期

高齢期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
A	1 健康状態を知り注意して生活することができる。
B	2 自分の身体の変化の様子を正しく知ることができる。
B	3 減退する体力に適応して健康を保持することができる。

(3) 具体策

- 高齢者専門の健康相談のできる施設の整備と利用
- 健康についての高齢者学級の開設と参加
- 「けんこうだより」による啓発
- 高齢者スポーツ活動推進のための指導者の養成
- 高齢者のためのスポーツ指導員の配置と、常設の高齢者むけスポーツ施設の設置
- ゲートボールやレクリエーション活動などへの積極的参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、食べ物などについて配慮し健康の保持に努める。

I. 足利市の教育目標

- 家庭では、高齢者学級等に喜んで参加できるように援助する。
 - 地域では、高齢者も一緒にできる運動行事を催し、援助する。
 - 市では、高齢者が運動やスポーツを実施しやすいような環境を整備する。
 - 市では、高齢者を対象にした事業の中で、健康講座やスポーツ教室を開き援助する。
- ◎ 家庭を中心として、地域や社会体育機関との連携を図りながら、健康・安全と体力の保持に努める。

教育目標番号 12

日常生活の中で、社会的に望ましい習慣や態度を身につける。

(1) 目標達成の時期

乳幼児期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
A	1 友達に迷惑をかけたらすなおに謝り、また過ちを許すことができる。
A	2 友達との約束を守ることができる。
A	3 友達に親切にし、お礼をいうことができる。
A	4 友達の喜びと一緒に喜んでやることができる。
C	5 身近にある美しいものを見て喜び、友達の作品などを大事にすることができます。

(3) 具体策

- 幼稚園、保育所などにおけるしつけ指導の充実
- 表現の喜びを味わわせる指導の充実
- 社会的に望ましい態度育成の両親学級の開設と参加
- 家庭におけるしつけ指導の充実
- 社会的に望ましい習慣や態度を育てるための相談事業の実施

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、日常生活における社会的なしつけを徹底する。

- 幼稚園、保育所などでは、集団生活をするための基本的なしつけを徹底する。
- 幼稚園、保育所などでは、社会的に望ましい習慣や態度を育てるために、親に対して子育ての教育をする。
- 地域では、子供仲間の遊びを通して、社会的な習慣や態度を身につける。
- 公民館では、乳幼児を育てるための家庭教育学級を意図的、計画的に開設する。

- ◎ 家庭を中心として、地域や幼稚園、保育所などとの連携を図りながら、社会的に望ましい習慣や態度を育てる。

教育目標番号 13

社会の一員としての自覚をもち、社会的态度を身につける。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 公の機関、特に、市役所、消防署、警察署などの働きが、私たちの生活にどのように関係しているかを指摘することができる。
D	2 自分は、責任をもった市民であると感じていることを、言葉や行いで示すことができる。
D	3 地域の行事に積極的に参加し、地域社会への理解を深めることができる。
A	4 学校やグループの生活の中で、自分が受け持つ仕事の責任を果たすことができる。
A	5 集団の中でみんなの意見を尊重し、だれとでも仲良く生活していこうとする態度をとることができる。
B	6 学級やグループの中でいくつかの役割を受け持ったり、みんなのために働いたりすることができる。
B	7 公の場所をきれいにすることができます。

(3) 具体策

- 広報「あしかがみ」、社会科副読本「のびゆく足利」などの活用
- 集団の一員としての自覚を育てる教育活動の充実

I. 足利市の教育目標

- 児童活動を通しての奉仕活動の実践
- 足利市における特色ある行事の紹介
- オアシス運動の推進
- 社会教育推進のための指導者の養成
- 町内子供会の育成と指導の充実

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、地域社会との交流を積極的に図り、子供会に積極的に参加できるよう援助する。
- 学校では、公民としての資質の育成に努力するとともに、家庭や地域にも働きかける。
- 地域では、いろいろな行事に積極的に参加できるよう援助する。
- 学校、家庭、地域が一体となって社会的態度の育成に努める。

教育目標番号 14

個人または団体の利害だけにとらわれず、全体との調和を図っていくことができる。

(1) 目標達成の時期

〔青年期〕

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 他人の立場を十分理解して、自分の責任で仕事をすることができます。
B	2 自由と責任との関係や、権利と義務の関係について理解することができます。
D	3 個人と集団の関係を十分考え、時には、集団の利益のために、個人的な欲求や期待をおさえることも必要であることを知る。
D	4 地域の社会的な行事には積極的に参加し、地域社会への理解を深め、協力する態度を身につけることができる。

(3) 具体策

- 個と集団に関する道徳、特別活動、社会科などの学習の充実
- 地域の伝統的行事への積極的参加
- 青少年育成会、勤労青少年グループなどの自主的活動の指導・援助

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、道徳、社会科、特別活動などで意図的、計画的指導を進める。
- 家庭では、各種研修会や地域の行事へ進んで参加するよう働きかける。
- 地域では、青年学級講座などで、自由と責任、権利と義務についての理解を図り、サークル活動などで直接指導を進める。

- 学校を中心として、家庭や地域との連携を図りながら、個人や一部の団体の利害だけにとらわれず、全体との調和を図るように努める。

教育目標番号 14

個人または団体の利害だけにとらわれず、全体との調和を図っていくことができる。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 個人が集団の一員であることを自覚し、自らの責任を果たすことができる。
D	2 個人と集団との調和を図りながら行動することができる。
D	3 自分の所属する団体の利害や感情にとらわれず、全体の発展を図っていくことができる。

(3) 具体策

- 集団の所属感を高める各種の催しと参加
- 集団と個に関する内容の広報活動の推進
- 企業内における各種講座の開設と参加
- コミュニティづくりの推進と積極的な参加

I. 足利市の教育目標

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 地域では、個人または一部の団体でなく、調和のとれた発展を図れるような意識を高める。
 - 社会教育機関では、個人と集団の望ましい在り方についての意識を高める諸活動を行う。
 - 企業では、集団の所属感を高めると同時に、一部の団体の利害にとらわれない、調和のとれた発展を図れるような意識を高める。
 - 市では、広報紙等を利用して、市民が地域や職場において個人と集団の望ましい在り方についての意識を高める資料、情報を提供する。
-
- 地域を中心として、家庭や企業などとの連携を図りながら、個人や一部の団体の利害だけにとらわれず、全体との調和を図るように努める。

教育目標番号 15

社会の一員としての役割を自覚し、責任ある言動をとる。

(1) 目標達成の時期

青 年 期

(2) 達成目標

タイプ	達 成 目 標
B	1 生活していく上で、最小限度必要な法規を知り、遵法の精神を重んじることができる。
B	2 正しい勤労観を身につけ生活することができる。
D	3 選挙の意義を知るとともに、民主政治における政党の役割について関心をもつことができる。
D	4 租税の役割と納税の義務について理解する。
D	5 権利は義務を伴うものであることを理解し、他人の権利を尊重することができる。

(3) 具体策

- 法に関する各種の講座や講演会の実施と参加
- 遵法の精神に関する道徳、学級指導、社会科などの指導の充実
- 選挙や税金などに関する社会科指導の充実
- 選挙に関する演説会、放送、選挙広報などの積極的活用

- オアシス運動の推進

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、社会科を中心に、公民的資質の基礎を意図的に指導する。
- 学校では、勤労の尊さや奉仕の精神などが体得できるような活動を意図的に行う。
- 公民館では、法に関する学習会、講演会を実施する。
- 勤労青少年ホーム及び公民館では、正しい勤労観の育成を図るための研修会、講習会を開設する。
- 地域では、各種広報機関を利用して、正しい選挙についての意識を高め、選挙権行使の自覚を促す。
- 家庭では、勤労の尊さや奉仕の精神などが体得できる場を設ける。
- 家庭では、公民としての社会的役割について、家族の意識を高める。

- ◎ 学校を中心として、家庭や社会教育機関との連携を図りながら、社会の一員としての役割や責任ある言動をとるように努める。

教育目標番号 15

社会の一員としての役割を自覚し、責任ある言動をとる。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 権利を正しく主張し、義務を果たすとともに他人の権利も尊重する。
B	2 正しいと信ずる意見を主張できる勇気をもつとともに、言動には責任をもつことができる。
D	3 立候補者の人物、政見等をよく知り、自分の考えで正しく判断できる。
D	4 選挙のときばかりでなく、選挙後も政治について関心がもてる。

(3) 具体策

- 権利や義務に関する各種講座の開設と参加
- 地域における集会への積極的参加
- 選挙に関する演説会、放送、選挙広報などの積極的活用
- 行政との対話集会、提言集会、意見を聞く会などの実施と積極的参加

I. 足利市の教育目標

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 地域では、正しい選挙の推進に努める。
 - 地域では、各種広報機関を利用して選挙権行使を促す。
 - 公民館では、法に関する学習会、講演会を積極的に開催する。
 - 市では、提言集会、市長との対話集会などを催し、市政への関心を高め、市民の声を市政に反映させる機会をつくる。
 - 家庭では、政治に関心をもち、正しい選挙についての認識を深める。
- ◎ 地域を中核として、家庭や社会教育機関との連携を図りながら、社会の一員としての役割や責任ある言動をとるように努める。

教育目標番号 16

地域の集団活動に積極的に参加し、自らの役割を果たす。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 近隣の人たちと助け合いながら、心の触れ合いに努める。
C	2 協力し合って集団生活の向上に努める。
D	3 会議の仕方を知り、話し合いの能率を図る。
B	4 家庭での役割と立場を理解し、協力し合うことができる。
B	5 地域の人々のためになる仕事を見出し、進んで実行することができる。

(3) 具体策

- 近隣の行事の計画と実施
- 社会奉仕グループの育成と参加
- 地域の祭礼などの伝統的行事についての計画と実施
- クリーン運動などへの積極的参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 地域では、地域集団活動の意義や役割についての関心を高め、進んで行事を設ける。
- 地域では、地域集団活動を通してコミュニティづくりを推進する。
- 家庭では、地域集団活動の意義について話し合い、近隣の行事へ進んで参加

協力する態度を養う。

- 公民館では、育成会、自治会などのリーダー研修会を計画的に行い、地域集団活動を積極的に推進する。
- 地域を中心として、家庭や社会教育機関との連携を図りながら、地域集団活動への参加と役割を果たすように努める。

教育目標番号 16

地域の集団活動に積極的に参加し、自らの役割を果たす。

(1) 目標達成の時期

高齢期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 自らの体験を生かしながら地域集団活動に積極的に参加し、互いの向上に努める。
B	2 地域の人々のためになる仕事を見いだし、進んで実行することができる。
B	3 地域の各種行事に積極的に参加し、指導的役割を果たすことができる。

(3) 具体策

- 近隣の行事への協力と参加
- 地域の祭礼など伝統的行事についての指導
- 高齢者人材活用事業の推進
- 自治会活動の指導者として積極的に参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 地域では、高齢者の体験が生かせるような機会を計画的に設定し、地域集団活動を推進する。
- 家庭では、地域集団活動の意義について話し合い、高齢者が喜んで参加できるようなふん囲気をつくる。
- 公民館では、高齢者人材活用事業を推進する。
- 地域を中心として、家庭や社会教育機関との連携を図りながら、地域集団活動への参加と役割を果たすように努める。

I. 足利市の教育目標

教育目標番号 17

時間の大切にし、時刻を守る。

(1) 目標達成の時期

壯年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 各種集会など約束の時刻を守り、他人に迷惑をかけないようにする。
B	2 時間の大切さを知り、むだのない生活をすることができる。

(3) 具体策

- 各種の会合や行事における、時刻を守る運動の推進
- 各種の会合や行事での時間の有効な使い方の工夫
- 「時の記念日」を中心とした行事の推進

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 地域では、時間厳守を呼びかけ、時間の大切さについての意識を高める。
 - 公民館では、研修会や講座を開設し、時間の大切さについての啓発を図る。
 - 家庭では、時間の大切さや時刻厳守の必要性についての意識を高めるとともに、合理的、計画的な生活に心掛ける。
-
- 地域を中核として、家庭や社会教育機関との連携を図りながら、時刻を守るように努める。

教育目標番号 18

友達と互いに協力し合うことができる。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 相手の心を思いやって協力することができる。
D	2 男女それぞれに適した仕事を見付けて協力できる。
B	3 集団の中で、規律を守って行動することができる。

- | | |
|---|------------------------------|
| B | 4 集団の中で決めたことに協力することができる。 |
| A | 5 グループの中で自分の役割や仕事を果たすことができる。 |

(3) 具体策

- 交友関係調査の実施と事後指導
- 友達を思いやる教育活動の充実
- 望ましい人間関係を育成する特別活動の充実
- 児童館の積極的な利用の促進
- 地域ぐるみのオアシス運動の推進。

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、仲よく協力することについて意図的、計画的に指導する。
- 学校では、PTA活動を通して、あいさつ運動を推進する。
- 家庭では、人の接し方、あいさつ、奉仕などについて話し合い、家族の温かい心情と実践的態度を育てる。
- 地域では、育成会、自治会などが中心になって、あいさつ運動を推進する。
- 地域では、児童館を中心とした利用促進を図る。

- ◎ 学校を中心として、家庭や地域との連携を図りながら、協力する態度を育てる。

教育目標番号 19

相手の立場や気持ちを理解し、温かい心で人に接することができる。

(1) 目標達成の時期

青年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 温かい心で人に接し、だれにでも親切にことができる。
B	2 相手の立場や気持ちを理解し、広い心で人に接することができる。
B	3 弱い人や不幸な人を励ましたり援助したりすることができる。
C	4 だれにでも気持ちよくあいさつができる。
B	5 心身障害者や老人に、思いやりのある温かい心で接することができる。
D	6 自分の考えを確立し、信念に基づいた言動をとることができる。

I. 足利市の教育目標

(3) 具体策

- 相手を思いやる教育活動の推進
- 各種ボランティア活動の紹介と参加
- 各種の研修会やサークル活動の実施と参加
- 地域ぐるみのオアシス運動の推進

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、個と集団、男女の間において望ましく行動できるように、あらゆる機会をとらえて意図的に指導する。
 - 地域では、育成会などで仲間づくり、仲間同士のつき合いが望ましくできるような環境を整える。
 - 家庭では、交友関係について共に考えたり、教えたりする。
- ◎ 学校と地域を中心として、家庭との連携を図りながら、温かい心で人に接することができるよう努める。

教育目標番号 20

友情の尊さを理解し、友達との交際の仕方を身につける。

(1) 目標達成の時期

青年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D 1	共通の目的のために、個人的な感情をおさえ、友人と交際する態度を身につける。
C 2	いたずらに友達に追従することなく、忠告し励ますことができる。
C 3	他人の助言や忠告に謙虚に耳を傾けることができる。
C 4	友情について深く考え、よい友人関係をつくることができる。

(3) 具体策

- 友情を深めるための場の設定と指導の充実
- 「望ましい交際の仕方」に関する道徳指導や特別活動の指導の充実

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、友達との交際の仕方やマナーを指導する。

- 学校では、学校全体を通して、友情を深め、友達との交際の仕方に関する指導を意図的、計画的に行う。
- 地域では、一体となって“正しい交際”的な醸成に努める。

- ◎ 学校、家庭、地域が一体となって友達との正しい交際の仕方ができるように努める。

教育目標番号 21

自分と異なる信条・宗教・主張などを理解し、広い心で接することができる。

(1) 目標達成の時期

壮 年 期

(2) 達成目標

タイプ	達 成 目 標
B	1 自分の考えを確立し、信念に基づいて発言できる。
B	2 他人の考えを正しく理解し、自分の考えと比較できる。
B	3 自分と異なる考え方や立場を尊重し、他から学ぶ広い心をもつことができる。
D	4 豊かな感受性をもって接するように努める。

(3) 具体策

- 教養を高める諸講演会の実施と積極的参加
- 文化機関の積極的利用と自己啓発の推進

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 地域では、広い心で接する人間関係づくりに努める。
- 職場では、広い心で接する人間関係づくりに努める。
- 家庭では、文化的ふん団気を醸成する。

◎ 地域や職場を中心として、家庭との連携を図りながら、広い心で接するように努める。

教育目標番号 22

若い世代の人たちの立場や気持ちを理解し、温かい心で人に接することができる。

I. 足利市の教育目標

(1) 目標達成の時期

高齢期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 若い世代の人たちとの交流に努める。
B	2 若い世代の人たちの立場や気持ちを理解し、温かい心で人に接することができる。
B	3 子や孫への深い愛情と理解をもって仲よく生活することができる。

(3) 具体策

- 高齢者学級の開設と参加
- 若い人と高齢者との交流の場の設定と参加
- 身につけた知識・技能を若い人たちへ伝える場の設定

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 地域では、研修会、同好会、近隣行事等を通して若い世代との交流の場を積極的に設ける。
- 家庭では、高齢者が研修会、同好会、近隣行事等へ喜んで参加できるようなふん囲気をつくる。
- 地域を中心として、家庭との連携を図りながら、若い世代との交流に努める。

教育目標番号 23

日常生活の中で善悪の区別がつけられる。

(1) 目標達成の時期

乳幼児期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
A	1 うそをいったりごまかしたりしないで生活することができる。
A	2 善悪の区別ができる。
A	3 友達のしていることや、テレビ童話などの中から良い、悪いを選び出すことができる。
A	4 自分の思ったことを素直に、正直に言うことができる。
C	5 友達の良いことをみんなに知らせ、まねすることができる。

(3) 具体策

- 遊び、絵本、昔話などを通しての善悪に関する指導の充実
- 劇などによる表現活動を通しての善悪に関する指導の充実
- 親に対する、道徳性に関する指導の充実

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、機会あるごとに、善悪の区別ができるよう教えたり、仕向けたりする。
- 幼稚園、保育所などでは、良い、悪いを区別して実践できる場を意図的に設定し、指導を推し進める。
- 公民館等では、子供のしつけについての家庭教育学級等への参加を呼びかける。

- 家庭と幼稚園、保育所などが一体となって、善悪の判断と、その実践的態度を育てる。

教育目標番号 24

道徳的な態度を身につけ、実践することができる。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 自他の生命を尊重する態度を身につける。
B	2 常に明るく誠実に行動することができる。
A	3 規則や自分たちで作るきまりの意義を理解し、これを守ることができる。
A	4 相手の身になって考え、温かく接することができる。
B	5 公共物を大切にし、公衆道徳を守ることができます。
B	6 善悪の判断ができ、責任ある行動をとることができます。

(3) 具体策

- 学校教育全体を通して行う道徳指導の充実強化
- 小さな親切運動などの推進
- 歳末助け合い運動への参加

I. 足利市の教育目標

- 校内美化運動の推進
- 互いに認め合う学級、学年、学校づくりの推進
- 生命尊重に関する指導の強化

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、道徳教育の全体計画に基づいて、組織的、計画的に指導する。
 - 家庭では、“しつけ教育”に特に力を入れる。
 - 地域では、児童を取り巻くよい環境づくりに努めるとともに、善行を認め、励ますようにする。
- 学校を中心として、家庭や地域との連携を図りながら、道徳的態度の育成と実践に努める。

教育目標番号 24

道徳的な態度を身につけ、実践することができる。

(1) 目標達成の時期

青年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 自他の生命を尊重する態度を身につける。
B	2 自分の果たすべき義務を知り、それを確実に果たすことができる。
B	3 自ら判断し、責任ある行動ができる。
B	4 公共物を大切にし、公衆道徳を守ることができる。
B	5 規則や自分たちで作るきまりの意義を理解し、これを守ることができる。

(3) 具体策

- 道徳教育、特別活動、生徒指導の充実
- 小さな親切運動などの推進
- 互いに認め合う学級、学年、学校づくりの推進
- ボランティア活動への積極的参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、道徳教育の一層の充実を図る。
- 家庭では、日常のしつけや指導によって道徳性の伸長を図る。

- 地域では、生徒を取り巻くよい環境づくりに努めるとともに、善行を認め、励ますようにする。
- 学校を中核として、家庭や地域との連携を図りながら、道徳的実践態度を育てる。

教育目標番号 24

道徳的な態度を身につけ、実践することができる。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
A	1 自他の生命を尊重する態度を身につけることができる。
D	2 自らの行動や態度を高めるために道徳や宗教の問題について学ぶことができる。
D	3 公共物を大切にし、公衆道徳を守ることができる。
B	4 遵法の精神を重んじ、みんなで力を合せて社会秩序と規律を高めていくことができる。
B	5 他人の権利や感情などを考えに入れて、自らの行動を決める態度やそれに必要な自制心を身につけることができる。

(3) 具体策

- ボランティア活動への積極的な参加
- 成人教育講座の開設と参加
- 子供の手本となる生活態度の実践

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 地域では、各種教養講座の開設と積極的参加を図る。
- 地域では、地域の人たちとの交流を図る。
- 家庭では、親が自ら範を示すように努める。
- 地域を中核として、家庭との連携を図りながら、道徳的実践に努める。

I. 足利市の教育目標

教育目標番号 25

子供に日常生活の中で善悪の区別がつけられるようにする。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 子供の生き方の手本となるような暮らし方ができる。
B	2 子供の意見を尊重するとともに、時には厳しい態度で臨むことができる。
B	3 社会のルールを理解させ、守らせることができる。
B	4 約束を守り、行動に責任をもたせることができる。

(3) 具体策

- 善悪に関する両親学級の開設
- 社会ルールを守る市民運動の推進
- 親に対して、道徳性に関する指導の充実

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 社会教育機関では、子供のしつけについて家庭教育学級などを開設する。
- 学校、幼稚園・保育所などでは、父母に対して子供のしつけについての家庭教育学級を開設する。
- 家庭では機会あるごとに、善悪の区別できるよう教えたり、仕向けたりする。

- 社会教育機関を中心として、学校、幼稚園、保育所などとの連携を図りながら、子供のしつけをする。

教育目標番号 26

友達のだれとでも積極的に仲よく遊べる態度を身につける。

(1) 目標達成の時期

乳幼児期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
A	1 自分の物と友達の物を区別して遊ぶことができる。
A	2 友達と対等に遊ぶことができる。
A	3 だれとでも、仲良く、進んで楽しく遊ぶことができる。
C	4 男女それぞれ良いところを出し合って仲良く遊ぶことができる。

(3) 具体策

- 自分の物と友達の物の区別や借り方などに関する指導の充実
- 遊びについての両親学級の開設と参加
- 幼稚園、保育所などにおける、だれとでも仲良く遊べる指導の強化

(4) 目標達成の場とそのかかりわり (教育機能連関)

- 家庭では、兄弟関係を通して遊ぶことの意義を両親がよく理解し、遊びがよくできるようにしつける。
- 幼稚園、保育所などでは、友達と遊ぶときのルールやマナーを身につけさせ、それらが家庭に帰っても継続されるようにする。
- 地域では、安全な遊び場を児童に提供し、より安全に遊べる施設、設備の充実を図る。

- ◎ 家庭を中心として、地域や幼稚園、保育所などとの連携を図りながら、友達のだれとでも仲良く遊べる態度を育てる。

教育目標番号 27

よりよい仲間づくりをするために、不合理な差別や偏見をもたないで生活することができる。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
A	1 相手の立場に立って思いやりの心がもてる。
B	2 社会の一員として、自他の人格を認めたり、連帯感や協調性を身につけることができる。
B	3 社会生活について、自ら考え正しく判断することができる。

I. 足利市の教育目標

B | 4 差別や偏見に気付くことができる。

(3) 具体策

- 集団活動に関する特別活動の指導の充実
- 共遊の時間、給食の時間、清掃の時間などの指導の充実
- 差別や偏見に関する道徳、社会科指導の充実

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、教育活動全般を通して、差別をしない、差別に負けない指導を意図的、計画的に行う。
- 地域では、相手の立場に立って考えたり、分け隔てなくみんなと仲良く行動できる態度を育てる。
- 家庭では、家族のそれぞれの人格を認め合い、協力する生活態度を育てる。

- 学校を中心として、家庭や地域との連携を図りながら、偏見や不合理な差別をなくすように努める。

教育目標番号 28

同和問題を正しく理解し、不合理な差別や偏見のない民主的な人間関係をつくることに努める。

(1) 目標達成の時期

青 年 期

(2) 達成目標

タイプ	達 成 目 標
A	1 相手の立場に立って行動できる。
B	2 正しいと信ずることを主張できるとともに、言動には責任をもつことができる。
B	3 同和問題を正しく理解し、差別を見抜くことができる。
B	4 よりよい社会を実現するため、差別や偏見をなくすことができる。

(3) 具体策

- 集団活動に関する特別活動の指導の充実
- 同和問題に関する社会科指導の充実強化
- 不合理な差別や偏見に関する学級指導、道徳指導の充実強化

- 同和教育啓発資料を使った研修会の実施と参加
- 広報紙などによる啓もう啓発
- 同和問題解決のための市民運動の推進

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、各教科、領域の中に同和教育を位置づけて、偏見や差別の解消のための実践をする。
- 地域では、同和問題の正しい理解と認識のための研修会の充実を図る。
- 家庭では、同和教育啓発資料を活用して、偏見や不合理な差別の解消に努める。

- 学校と地域を中心として、家庭との密接な連携を図りながら、偏見や不合理な差別の解消に積極的に努める。

教育目標番号 **29**

同和問題を正しく理解し、不合理な差別や偏見のない社会の実現に努める。

(1) 目標達成の時期

壮年期～高齢期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 相手の立場に立って行動できる。
B	2 同和問題を正しく理解することができる。
B	3 差別と偏見のない、よりよい社会を実現するように努める。
B	4 誤った偏見を、若い世代に伝えないようにすることができる。

(3) 具体策

- 同和問題を理解するための各種の研修会、講演会等の開催と参加
- 同和教育啓発資料の発行とその活用
- 広報紙などによる啓もう啓発
- 同和問題解決のための市民運動の推進と実践
- 父母のための啓発資料の活用

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 地域では、同和問題解決のため研修会の開催や啓発を推進する。

I. 足利市の教育目標

- 家庭では、家族みんなで、同和問題について理解し実践する。
 - 職場では、企業内の同和教育を推進する。
- ◎ 地域、家庭、職場が一体となり、同和問題を市民的課題としてとらえ、その解決に努める。

教育目標番号 30

奉仕活動の大切さを理解し、積極的にその活動に参加する。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 自分は生かされている存在であることを自覚し、他に報いる義務があることを理解することができる。
D	2 狹い集団だけでなく、広く他に尽くすことにより、お互いの生活が快適になることを指摘することができる。
D	3 社会における各種ボランティア活動の内容を説明することができる。
D	4 学級、学校、家庭及び地域社会において積極的に広く他に尽くす体験をすることができる。
B	5 自分が他に尽くすことにより、どのような気持ちになるかを体験に基づき発表することができる。
D	6 家族の一員であることを自覚し、家族のために働く喜びをもつことができる。
B	7 子供会などの活動に進んで参加し、地域社会のために奉仕することができる。
B	8 自分から進んで家事の手伝いができる。

(3) 具体策

- 特別活動や道徳などを通して、奉仕活動に関する指導の充実
- 児童活動を通しての奉仕活動の実践
- 子供会などを通しての奉仕活動への積極的参加
- 各種のボランティア活動の紹介と参加
- 地域クリーン運動への積極的参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、家事を分担させ奉仕する態度を育てる。
- 学校では、特別活動、道徳などを通して奉仕の意識を高め、また実践の場を設ける。
- 地域では、子供会や地域ぐるみのクリーン運動などを通して奉仕の意識を高め、実践させる。

- ◎ 家庭、学校を中心として、地域との連携を図りながら奉仕活動に積極的に参加する態度を育てる。

教育目標番号 30

奉仕活動の大切さを理解し、積極的にその活動に参加する。

(1) 目標達成の時期

青年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 人に迷惑をかけることなく自分のことは自分でやり、他人に協力ができる。
D	2 報酬を期待することなく、自発的に人に力を貸すことができる。
D	3 各種の奉仕活動を知り、その活動に参加することができる。
B	4 自分から進んで家の手伝いができる。
D	5 家族のために働く喜びをもって生活することができる。
D	6 家庭での役割と立場を理解し、協力し合うことができる。
A	7 近所の人々と好ましい人間関係をつくることができる。
D	8 地域の人々のために仕事を見いだし、進んで実行することができる。

(3) 具体策

- 生徒会活動を通しての奉仕活動の実践
- ボランティア活動の紹介と積極的参加
- 社会連帯感を強める講座や研修会の開催と参加
- 地域クリーン運動への積極的参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、各教科、道徳、特別活動などを通して、奉仕の意識を高め、また

I. 足利市の教育目標

実践の場を与える。

- 地域では、諸活動を通して 奉仕の精神を養い、また実践の場を設ける。
 - 地域では、高齢者が体験を生かして 若い人たちに指導、助言する場を設ける。
 - 市では、広報紙等を通して 奉仕の意識を高めるとともに、市民が気軽に参加できるような奉仕活動を企画し、参加を呼びかける。
 - 家庭では、日常生活を通して奉仕する態度を育てる。
- ◎ 学校、地域を中心として、市や家庭との連携を図りながら、奉仕活動に積極的に参加するように努める。

教育目標番号 31

奉仕を通して生きがいがもてる。

(1) 目標達成の時期

壮年期～高齢期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 家庭での役割りと立場を理解し、協力し合うことができる。
A	2 近所の人々と好ましい人間関係をつくり、奉仕活動に参加することができる。
D	3 地域の人々のためになる仕事を見いだし、進んで実行することができる。
D	4 自己の体験を生かし、若い人達へ適切な助言・指導をするなど、生きのある生活ができる。

(3) 具体策

- 奉仕に関する各種講座、研修会の開催と参加
- ボランティア活動の実施と参加
- 地域ぐるみの奉仕活動の実施と参加
- 奉仕活動を通しての若い人達への助言指導
- 地域クリーン運動の推進
- 友愛訪問活動や介護奉仕の推進
- 高齢者人材活用事業の推進

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、地域社会との交流を重視し、積極的に行事等に参画する。
- 家庭では、高齢者が体験を生かして、家族に指導、助言する場を設ける。
- 地域では、婦人会などの活動を通して、社会奉仕について積極的に参加する。
- 地域では、高齢者が体験を生かして、若い人達に指導、助言する場を設ける。
- 社会教育機関では、各種ボランティアの養成講座の充実と参加を呼びかける。

- ◎ 家庭や地域を中心として、社会教育機関との連携を図りながら、奉仕活動に積極的に参加するように努める。

教育目標番号 32

敬老の精神を身につけ実践する。

(1) 目標達成の時期

児童期～青年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 祖父母等を尊敬し、愛情をもって接することができる。
B	2 高齢者の豊かな体験に学び、これを生かすことができる。

(3) 具体策

- 祖父母を中心とした「家庭の日」に関する各種行事の実施
- 老人と児童との交流事業の推進
- 老人を大切にする指導の充実
- 高齢者を招待しての学校行事の実施
- 敬老意識の啓発に関する広報紙の発行

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、祖父母の体験談に素直に耳を傾け、その体験を有効に生かす。
- 学校では、高齢者を指導者として、地域の伝統を児童・生徒に伝えていく場の促進を図る。
- 学校では、敬老意識を育てる教育活動を意図的、計画的に行う。
- 地域では、高齢者との交流の場を積極的に設ける。

I. 足利市の教育目標

- ◎ 家庭を中核として、学校や地域との連携を図りながら、敬老精神のかん養と実践に努める。

教育目標番号 33

子供に敬老の精神を育てる。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 老人の生きがいを理解し、援助することができる。
B	2 高齢者の豊かな体験に学び、これを生かすことができる。
B	3 祖父母を大切にすることを、身をもって子供に示すことができる。

(3) 具体策

- 老人と児童との交流事業の推進
- 「敬老の日」に関する各種行事の促進
- 高齢者との交流の場の設置
- 老人福祉センターの整備拡充

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、家族ぐるみで和やかな話し合いの場を積極的に設ける。
 - 学校では、高齢者を指導者として、地域の伝統を児童・生徒に伝えていく場の促進を図る。
 - 地域では、「敬老の日」に関する行事を行う。
 - 社会教育機関では、高齢者学級等の拡充と充実を図る。
- ◎ 家庭を中核として、学校、地域、社会教育機関との連携を図りながら、子供に敬老の精神を育てる。

教育目標番号 34

男女の特性や家族の役割を理解し、よりよい家庭を築く生活態度を身につける。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 男女の特性をあげることができる。
D	2 男女の違いを知って、自分の役割を果たすことができる。
D	3 男女それが適した仕事をもって働いていることを理解できる。
B	4 男女が協力する態度や、家族相互の役割分担によって、よりよい家庭をつくる生活態度を身につけることができる。
A	5 清潔で健康な生活態度を身につけることができる。

(3) 具体策

- 男女の特徴を正しく理解するための手引書の作成
- 学校の諸活動における男女協力の場の設定と実践
- 家庭科指導を通して、よりよい家庭を築く指導の充実
- 家庭の役割を分担することによる、よりよい家庭づくりへの参加
- 性教育資料の刊行と指導の充実

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、家族団らんの機会をもち、家庭愛に満ちた生活を送る。
- 家庭では、学校と協力し、性教育についての指導充実を図る。
- 学校では、男女協力の場を意図的、計画的に設ける。
- 学校では、性教育について意図的、計画的に行う。
- 社会教育機関では、家庭教育に関する講座などの充実を図り、参加を呼びかける。
- 地域では、子供会活動への指導助言を適切に行う。

- ◎ 家庭や学校を中心として、地域との連携を図りながら、男女協力の態度を育てる。

教育目標番号 35

男女の特性を理解し、清純で明朗な交際の仕方を身につける。

(1) 目標達成の時期

青年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 思春期における男女の精神的、身体的变化や生理の違いを正しく知る。

I. 足利市の教育目標

- | |
|--|
| C 2 男女互いに相手の特性や立場を理解し、健全な異性観を身につける。 |
| D 3 男女の特性を生かし、それぞれの良いところを出し合って互いの向上に努める。 |
| D 4 相手の人格を尊重し、清純で明朗な交際の仕方を身につける。 |

(3) 具体策

- 性教育資料の刊行と指導の充実
- 男女平等、清純な交際等に関する学級指導や道徳指導の充実
- 男女の敬愛、友情に関する道徳指導の充実
- 各種サークル活動への積極的参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、男女の敬愛や真の友情などの指導を意図的、計画的に実施する。
 - 家庭では、特に男女の正しい交際の仕方やマナーを育てる。
 - 地域では、地域ぐるみで正しい交際の仕方の育成に努める。
- ◎ 学校を中心として、家庭や地域との連携を図りながら、清純で明朗な交際の仕方を育てる。

教育目標番号 36

結婚の意義を理解し、健全な家庭生活を営む態度を身につける。

(1) 目標達成の時期

青年後期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 男女の性の違いを理解し、互いに協力して生活することができる。
E	2 明るく正しい男女交際ができる。
D	3 結婚ということの人生における意味について知る。
B	4 子供をもつことについての考え方や態度を身につける。
D	5 乳幼児の扱い方を身につける。
D	6 家庭生活の在り方（夫婦の役割や生活の楽しみなど）を知る。
D	7 家庭管理の在り方を知る。

(3) 具体策

- 結婚や健全な家庭生活に関する各種教養講座の開設と参加
- 子育てに関する講座の開設と参加
- 家庭の在り方について、父母や祖父母との話し合いの場の設定
- 母子保健に関する婚前教育、母親教育の実施と参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、家族間の話し合いの場を設け、結婚の意義についての理解を深める。
- 家庭では、社会教育関係の施設・事業等を活用し、積極的に参加して自己研さんを図る。
- 社会教育機関では、青少年対策事業の充実と積極的参加を呼びかける。
- 公民館等では、社会教育活動の広報と参加を呼びかける。

- 家庭を中心として、社会教育機関との連携を図りながら、サークル活動などを通して、健全な家庭の生活設計の推進に努める。

教育目標番号 37

性について正しい理解をもち、家庭において指導することができる。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 正しい結婚観に立ち、夫婦愛に満ちた家庭生活ができる。
B	2 わが子に対して、正しい性の指導が適切にできる。

(3) 具体策

- 子育てに関する各種の講座等の開設と参加
- 父母用の性教育資料の刊行
- 性教育に関する研修会、映画会等の実施と参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、夫婦愛に満ちた生活を営む。

I. 足利市の教育目標

- 家庭では、家族の共通理解のもとに性教育を実践する。
 - 家庭では、学校で行われている性教育についての理解を深める。
 - 学校では、家庭における性教育についての資料を提供する。
 - 学校では、PTA活動を通して児童・生徒の理解を深めるための研さんを推進する。
 - 社会教育機関では、性教育について各種教育講座の中で啓もうを図る。
- ◎ 家庭を中心として、学校や社会教育機関との連携を図りながら、性教育の実践に努める。

教育目標番号 38

家族が互いに尊重し合い、明るい家庭生活ができる。

(1) 目標達成の時期

青年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 家族の話し合いの場を増やすことができる。
D	2 自分の個性を知ることができる。
D	3 自分を反省し、常に自己成長させることができる。
E	4 相手の立場にたって物事を考え、接することができる。
D	5 心の通い合う言葉づかいをすることができる。
D	6 人の話を上手に聞きながら話し合いを進めることができる。
D	7 相手の長所を認め合うことができる。
B	8 家族の各々の立場にたって、適切な行動をとることができる。

(3) 具体策

- 家族キャンプ、市民ハイキング等の実施と参加
- 長期休業中における青少年を育てる運動の充実 強化
- オアシス運動の推進
- 「家庭の日」の有意義な過ごし方の実践に関する広報紙での啓発

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、家族そろっての話し合いや実践の場をつくるように努める。
- 学校では、道徳や家庭科の指導を通して、意図的に指導を進める。

- 社会教育機関では、青少年対策事業の拡充を図るとともに、積極的参加を呼びかける。
- 家庭を中心として、学校や社会教育機関との連携を図りながら、豊かな人間関係が築けるような態度を育てる。

教育目標番号 38

家族が互いに尊重し合い、明るい家庭生活ができる。

(1) 目標達成の時期

壮年期～高齢期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 家族の話し合いの場を増やすことができる。
D	2 心の通い合う言葉づかいをすることができる。
D	3 相手の気持ちを理解し、感謝の心をもつことができる。
B	4 家族の各々の立場にたって、適切な行動をとることができる。

(3) 具体策

- 家庭において、豊かな経験の積極的活用
- 家族ぐるみのレクリエーション活動や仕事の積極的実施
- オアシス運動の推進

(4) 目標達成の場とそのかかりわり（教育機能連関）

- 家庭では、家族団らんや仕事をする場をつくるように努める。
- 学校では、明るい家庭を築くための指導を行う。
- 公民館では、明るい家庭を築くための各種学級の拡充を図る。
- 家庭を中心として、学校や社会教育機関との連携を図りながら、豊かな人間関係が築けるような態度を育てる。

教育目標番号 39

家庭で行う行事に積極的に参加する。

I. 足利市の教育目標

(1) 目標達成の時期

児童期～青年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 家庭や社会の伝統的行事に参加することができる。
A	2 祖先の努力に感謝し、祖先を敬う行事に参加することができる。

(3) 具体策

- 地域の文化財等を取り入れた指導の推進
- 祖先を祭る行事への参加
- 地域の祭りへの積極的参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、家族ぐるみで楽しめる行事を実施する。
- 家庭では、伝統のある宗教的行事を行う。
- 地域では、伝統的行事を実施し、積極的参加を呼びかける。
- 地域では、地域の文化、芸能の理解と伝承に努める。
- 学校では、地域の文化財を教材化し、文化の伝承に努める。

- 家庭を中心として、地域や学校との連携を図りながら、伝統的行事や宗教的行事の実施に努める。

教育目標番号 40

よい家風を受け継ぎ、さらに新しい家風をつくりあげていくことができる。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
A	1 家庭や社会の伝統的行事を大切にすることができます。
B	2 よい家風をつくりあげていくことができます。
A	3 祖先の努力に感謝し、尊敬の念を持つことができる。

(3) 具体策

- 家族で楽しめる行事の実施

- 地域における祭りや行事の開催と参加
- 祖先を祭る行事の実施

(4) 目標達成の場とそのかかわり (教育機能連関)

- 家庭では、家族ぐるみで楽しめる伝統的行事（宗教的行事も含む）を実施する。
- 地域では、伝統的行事を実施し、積極的参加を呼びかける。
- 地域では、地域の文化、芸能の理解と伝承に努める。
- 公民館では、家庭生活を向上させるための家庭教育学級について参加を呼びかける。

- 家庭を中心として、地域や社会教育機関との連携を図りながら、よりよい家庭の継承と創造に努める。

教育目標番号 41

人格の基本となる望ましい性格を身につける。

(1) 目標達成の時期

乳幼児期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 興味あるものを一生懸命やることができる。
B	2 こと（もの）の善悪の区別ができる。
B	3 だれとでも仲良くすることができる。
B	4 祖父母を大切にことができる。
B	5 家事の手伝いができる。

(3) 具体策

- しつけに関する両親学級の開設と参加
- 遊園地等の施設の整備
- 望ましい性格を育てる指導の充実
- 「しつけ60章」の積極的活用

(4) 目標達成の場とそのかかわり (教育機能連関)

- 家庭では、乳幼児の行動を見守り、正しくしつける。

I. 足利市の教育目標

- 幼稚園や保育所などでは、基本的生活態度の育成に努める。
- 地域では、乳幼児を地域ぐるみで育てる意識を高める。

- ◎ 家庭を中心として、地域や幼稚園、保育所などとの連携を図りながら、望ましい性格を育てる。

教育目標番号 41

人格の基本となる望ましい性格を身につける。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 ものごとを最後までやりぬくことができる。
B	2 約束を守ることができる。
B	3 きまりを守ることができる。
B	4 だれとでも仲良くすることができる。
B	5 祖父母を大切にすることができます。
B	6 進んで家事の手伝いができる。

(3) 具体策

- 望ましい性格を育てる特別活動、道徳教育の充実、強化
- 望ましい性格を育てる家庭教育の充実
- 望ましい性格を育てる育成会活動の充実
- スポーツ教室、サークル活動などの開設と参加
- 「しつけ60章」の活用

(4) 達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、家族の一員としての立場を認め、役割分担を与えて実践的態度を助长する。
- 家庭では、社会教育機関の行事に参加するよう援助する。
- 学校では、基本的生活態度の育成に努める。
- 社会教育機関では、青少年対策事業の充実を図るとともに、積極的参加を呼びかける。

◎ 家庭、学校、地域が一体となって、人格の基本となる望ましい性格を育てる。

教育目標番号 42

子供の人格の基本となる望ましい性格を育てる。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 子供の生き方の手本となるような暮らし方ができる。
B	2 家族は子供の教育について話し合い、方針や方法について共通理解をもつことができる。
B	3 一家団らんの機会や話し合う場を意図的に設けてやることができる。
B	4 子供の行動を通して主体性を認めてやることができる。
D	5 子供に家族の一員としての役割分担を与えることができる。
B	6 子供の困難に対し、助言するとともに、時には厳しい態度でのぞむことができる。
B	7 ものごとを最後までやった結果を見とどけてやり、共に喜んでやることができる。
B	8 人を分け隔てしない態度を育てることができる。
D	9 人のために働く喜びを味わわせることができる。
B	10 約束を守り、行動に責任をもたせることができる。

(3) 具体策

- 子育てに関する各種学級の開設と参加
- 「しつけ60章」の活用
- 家庭教育相談事業の開設と利用
- 愛の一聲運動、あいさつ運動、小さな親切運動などの推進
- 家庭教育について広報紙での啓もう啓発

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、親自身が子供の手本になるような生活をし、基本的な生活態度をしつける。
- 家庭では、幼稚園や保育所などへ喜んで通うよう援助する。
- 地域では、地域ぐるみで幼児や児童を育てる意識を高める。

I. 足利市の教育目標

- 学校、幼稚園、保育所などでは、意図的、計画的に基本的生活態度の育成に努める。
- 家庭を中心として、地域や学校、幼稚園、保育所などとの連携を図りながら、望ましい性格を育てる。

教育目標番号 43

職業人としての自己研修にたえず努める。

(1) 目標達成の時期

青年後期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 企業内の職種について、正しい理解ができる。
B	2 研修会や研究会等に積極的に参加することができる。
B	3 自己の能力を発見し、それを十分に發揮することができる。
B	4 自己の能力を生産向上に生かすことができる。
B	5 能力や適性に合った職種について知ることができる。
D	6 自由時間等を利用して、自己研修に努めることができる。

(3) 具体策

- 自己の能力・適性についての検査の実施と活用
- 勤労者の表彰や技能者ほう賞制度の充実
- 職場内における企業内教育の充実
- 技能検定制度の普及と技能者の養成
- 勤労者の福祉向上を図るため、労働福祉会館の建設推進と福祉施設の充実

(4) 目標達成の場とそのかかりわり（教育機能連関）

- 各種学校では、技能検定制度の普及と技術者の養成をする。
 - 市では、勤労者の表彰や技能者ほう賞制度の充実を図る。
 - 職場では、企業内教育を充実する。
 - 公共職業安定所では、自己の能力・適性についての検査の実施と活用を図る。
 - 勤労青少年ホームでは、労働福祉対策の充実を図る。
- 公機関と事業所との連携を図り、職業人の技能、資質、福祉の向上に努める。

教育目標番号 43

職業人としての自己研修にたえず努める。

(1) 目標達成の時期

壯年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 職種に応じた専門的知識、技能を習得することができる。
B	2 研修会や研究会等に積極的に参加することができる。
B	3 自己の能力を発見し、それを十分に發揮することができる。
B	4 自己の能力を生産向上に生かすことができる。
C	5 安全で安い製品を作り出すための技術開発について学ぶことができる。
C	6 品質の向上を図るための技術開発について学ぶことができる。
E	7 最少量で、最大効果のある製品を作り出すように努力することができる。
E	8 技術革新には、創造性を培う必要があることがわかる。
B	9 常に新しい技術を習得し後輩の指導に役立たせることができる。
D	10 専門的知識のみにとらわれず、幅広い教養を身につけることができる。

(3) 具体策

- 自己の能力・適性についての検査の実施と活用
- 勤労者の表彰や技能者ほう賞制度の充実
- 職場内における企業内教育の充実
- 専門性を伸ばす研修活動の充実
- 勤労者のための野外趣味活動施設の利用

(4) 目標達成の場とそのかかりわり (教育機能連関)

- 公共職業安定所では、自己の能力・適性についての検査の実施と活用を図る。
- 職場では企業内教育の充実を図る。
- 市では、勤労者の表彰や技能者ほう賞制度の充実を図る。
- 家庭や職場では、野外趣味活動施設の利用をする。
- 商工会議所では、各種技術者養成のための講習会を実施する。

- 公機関と事業所との連携を図り、職業人の技能・資質の向上に努める。

I. 足利市の教育目標

教育目標番号 44

職業人としての専門的技能や資格を身につける。

(1) 目標達成の時期

青年後期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
A	1 離転職者や女性の特性を生かした技能や資格を身につけることができる。
A	2 身につけた技能や資格を職業生活に活用することができる。
D	3 再就職のための技能や技術を習得することができる。
B	4 自己の能力に合った技能や資格を選択することができる。
B	5 障害の程度に応じた技術や技能を取得し、自立更生できる。
B	6 技能や資格を生かした職業選択ができる。

(3) 具体策

- 職業訓練機関の整備拡充
- 家庭で働く職種の開拓
- 障害者のための職業訓練所の設置と充実
- 定時制高校、大学等の講座の開放と参加
- 各種の資格や技能に関する相談や職業情報の提供できる機関の充実
- 市研修センターの積極的活用

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 高校や各種学校では、技術教育を意図的、計画的に行う。
 - 学校では、開放講座の開設を促進して、技術教育の振興を図る。
 - 職場では、研修会や講習会を通して、技能向上を図る。
 - 社会教育機関では、職業生活に必要な知識や技術を習得するための援助や指導をする。
-
- 学校における技術教育と企業内教育を中心として、社会教育機関との連携を図りながら、専門的技能や資格を身につけるように努める。

教育目標番号 44

職業人としての専門的技能や資格を身につける。

(1) 目標達成の時期

壯 年 期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 技能や技術を習得できる方法を知ることができる。
B	2 技能や技術を習得することができる。
B	3 技術教育や技術研修の機会をもつことができる。
A	4 離転職者や女性の特性を生かした技能や資格を身につけることができる。
A	5 身につけた技能や資格を職業生活に活用することができる。
B	6 職場の仕事内容を理解し、自己の能力を生かすことができる。
D	7 再就職のための技能や技術を習得することができる。

(3) 具体策

- 職業情報の提供できる機関の設置と充実
- 職業訓練機関の整備拡充
- 技能や資格を登録し、照会できる機関の設置
- 専門的知識や技術の相互学習の場の設定

(4) 目標達成の場とそのかかりわり（教育機能連関）

- 公機関では、各種技能検定や資格認定を実施する。
- 職場では、研修会や講習会を通して技能向上を図る。
- 企業と研究機関では、互いに連携を図り、技術開発を進める。
- 社会教育機関では、技能尊重の意識を高める。

- 職場と公機関を中心として、社会教育機関との連携を図りながら、講習会、研修会等を通して技能の開発・向上と資格を身につけるように努める。

教育目標番号 45

職業を通して生きがいがもてる。

I. 足利市の教育目標

(1) 目標達成の時期

青年後期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
E	1 職業人の技能や熟練度を正しく認めることができる。
D	2 労働の報酬として、各職業人にふさわしい賃金、給与体制について正しい認識をもち、その確立に協力することができる。
A	3 職場の一員としての仕事ができる。
A	4 職場の人たちと仕事のことで援助したり、援助を受けたりできる。
B	5 経営者の経営方針を知ることができる。
D	6 社会の進歩の原動力が生産・勤労にあることを知ることができる。
D	7 自分の仕事に対しての使命感をもつことができる。

(3) 具体策

- 各種検定試験の実施
- 企業内教育の充実・強化
- 職場見学、工場見学等の職場開放週間の設定
- 各種講座の開設と参加（人間関係づくり、職業観、使命感）

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 公機関では、勤労意欲を高める施策の推進を図る。
 - 企業では、明るい職場づくりの推進を図る。
 - 社会教育機関では、職業人のための教育の推進を図る。
 - 学校では、職業や勤労に対する意識を高める指導を計画的に進める。
- 企業を中心として、公機関や社会教育機関、学校との連携を図りながら、職業を通して生きがいがもてるよう努める。

教育目標番号 45

職業を通して生きがいがもてる。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
E	1 職業人の技能や熟練度を正しく認めることができる。

- | | |
|---|--|
| D | 2 労働の報酬として各職業人にふさわしい賃金、給与体制について正しい認識をもち、その確立に協力することができる。 |
| A | 3 従業員や部下に信頼され、仕事の上の指導助言ができる。 |
| B | 4 職種に応じた専門知識を習得することができる。 |
| B | 5 常に新しい技術を習得し、後輩の指導に役立たせることができる。 |
| A | 6 職場の一員として仕事ができる。 |
| D | 7 自分の仕事に対して使命感をもつことができる。 |

(3) 具体策

- 各種技能に関する顕彰制度の拡大
- 各種検定試験の実施と応募
- 上司・管理者に対する各種講座の開設と参加
- 職種別講習会などの開催と積極的参加
- 専門的知識や技術の相互学習の場の設定
- 企業内教育の充実
- 共済制度、年金制度、退職金制度の確立

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 公機関では、勤労意欲を高める施策の推進を図る。
- 企業では、明るい職場づくりの推進を図る。
- 社会教育機関では、職業人のための教育の推進を図る。

- 企業を中心として、公機関や社会教育機関との連携を図りながら、職業を通して生きがいがもてるよう努める。

教育目標番号 46

勤労の尊さを理解し実践する。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 親の仕事の内容を知り、苦労や喜びを感じとることができる。
B	2 家事の手伝いを通して、勤労の尊さを知ることができる。
B	3 自分のやれる範囲で進んで手伝いができる。
B	4 まわりの人の仕事内容を知ることによって、働くことの苦労や喜びを

I. 足利市の教育目標

理解することができる。

(3) 具体策

- 勤労体験的学習の積極的実施
- 「父の日」「母の日」の有意義な過ごし方の実践
- 「勤労感謝の日」の有意義な過ごし方の実践

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、働く場を意図的に設け、働く喜びを味わわせるようにする。
- 家庭では、親の仕事の内容を知らせ、苦労や喜びについて話し合う。
- 学校では、勤労体験的学習などを通して、意図的、計画的に指導を進める。
- 地域では、クリーン運動に児童を積極的に参加させるなど、勤労体験の場を設ける。

◎ 家庭、学校、地域が一体となって、勤労への意識の高揚と実践に努める。

教育目標番号 46

勤労の尊さを理解し、実践する。

(1) 目標達成の時期

青年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B 1	親の仕事の内容を知り、苦労や喜びを理解することができる。
B 2	家事・家業の手伝いや自己の職業を通して、勤労の尊さを知ることができる。
B 3	学校の学習や作業に積極的に参加することができる。
B 4	奉仕活動を行うなど、いろいろな勤労体験ができる。

(3) 具体策

- 勤労についての各種講座の充実・強化
- 勤労体験的な学習の積極的実施
- 職場紹介などの広報活動の促進
- 「勤労感謝の日」の有意義な過ごし方の実践

(4) 目標達成の場とそのかかり (教育機能連関)

- 家庭では、親の仕事を理解し、勤労の大切さについて話し合う。
- 家庭では、働く場を意図的に設け、働く喜びを味わせるようにする。
- 学校では、勤労体験的学習などを通して、意図的、計画的に指導を進める。
- 地域では、クリーン運動などに積極的に参加させ 勤労の体験をさせる。
- 職場では、職業についての理解を家庭に積極的に働きかける。
- 公民館では、勤労に関する青年学級を積極的に開設し、参加を呼びかける。

- ◎ 家庭を中心として、学校や地域、社会教育機関との連携を図りながら、勤労への意識の高揚と実践に努める。

教育目標番号 47

正しい職業観に立ち、自分に合った職業を選択するための能力を身につける。

(1) 目標達成の時期

青年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 職業に関する知識・技能・態度を十分身につけ、職業選択の方法を知ることができる。
B	2 自分の職業に関する興味・能力・適性について十分知ることができる。
B	3 職業の社会的、経済的な意味を十分理解することができる。
E	4 産業構造、職種について知ることができる。
E	5 職業人の技能や熟練度を正しく認めることができる。
E	6 互いに能力を正しく評価できる。
D	7 労働の報酬として、各職業人にふさわしい賃金、給与体制について正しい認識をもち、その確立に協力することができる。

(3) 具体策

- 職業適性検査などの実施と指導
- 勤労体験の場の設定と指導
- 社会科、学級指導などによる職業に関する指導の充実
- 足利市の産業に関する紹介
- 就職に関するガイドブックの刊行と利用

I. 足利市の教育目標

- 各種技能に関する顕彰制度の拡大
- 各監督官庁の指導の充実と情報の提供
- 職場見学の実施

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校や公共職業安定所では、職業適性検査を実施し、就職への指導、助言を行う。
- 学校では、生徒会活動や学校行事におけるいろいろな勤労体験の機会を通して、勤労観の育成を図る。
- 学校では、社会科、特別活動などの学習を通して、職業の社会的、経済的意味の十分な理解を図る。
- 市では、「足利産業展」を開催し、足利の産業を広く紹介する。
- 商工会議所では、「就職ガイドブック」を刊行して、地場産業の職種などの理解を図る。
- 学校と公機関を中心として、商工会議所などとの連携を図りながら、職業に関する理解を深め、その選択能力を身につけさせるように努める。

教育目標番号 48

自分の仕事について家族に理解させる。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 家族全員が仕事について認識を深めるために、話し合いをすることができる。
C	2 生計者の仕事に対する努力により、家庭生活が支えられていることを家族全員に理解させることができる。
C	3 生計者の勤労に対して、ねぎらいのことばをかけ合える家庭をつくることができる。

(3) 具体策

- 職場紹介のパンフレットの刊行と利用
- 職場の諸行事に家族ぐるみの参加

- 生計者に対する家族の協力態勢づくりの促進

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、職場の諸行事に家族ぐるみで参加し、生計者の仕事に対する認識を高める。
- 企業では、職場紹介の資料や、職場見学の実施を通して、家族の仕事に対する理解を深める。

- ◎ 家庭と企業が一体となって、生計者の仕事について理解させ、望ましい家庭を築くように努める。

教育目標番号 49

再就職では、身につけた知識や技能を生かすことができる。

(1) 目標達成の時期

高 齢 期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 身につけた知識や技能を生かすことができる。
D	2 身につけた知識や技能を技術教育や技術研修などの機会に生かすことができる。

(3) 具体策

- 高齢者のための職業相談の充実
- 高齢者むけの職場の開設
- 高齢者に対する技能講習会の開催と参加
- 高齢者事業団の設置と充実

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 職場では、高齢者向きの職種を開拓し、再就職に対する理解を深める。
- 公機関では、職業訓練や職業相談を通して、高齢者の再就職を指導する。
- 家庭では、高齢者が持っている技能や知識の生かし方について話し合い、再就職に対する理解を深める。

- ◎ 公機関、職場、家庭が一体となって、高齢者が身につけた知識・技能を生か

I. 足利市の教育目標

す機会・方法を見つけ出すとともに、再就職への道を開けるように努める。

教育目標番号 50

資源の開発と活用を図り、産業の発展に努める。

(1) 目標達成の時期

青年期～壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 資源が産業の発達に影響していることを理解できる。
B	2 新しい資源開発技術を開発することの必要を理解できる。
B	3 産業廃棄物を円滑に処理する製品を生産する必要性を理解できる。
B	4 不用になった製品の再利用を図ることができる。
A	5 限られた資源で効率よく製品の生産することの必要を理解できる。
D	6 公害になる製品の日常生活への影響について、意識や関心をもつことができる。
D	7 公害製品の生産中止について、人道的立場から判断できる。

(3) 具体策

- 資源開発事業の促進
- 廃棄物の回収、再加工による利用の促進
- 産業公害防止対策の促進
- 産業廃棄物、廃水の処理対策に関する講演会・研究会の開催と参加
- 森林事業の促進

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 企業では、資源を効率よく利用するための研究・開発を促進する。
- 市では、資源の再利用運動の推進を図る。
- 学校では、わが国の資源の実態について知らせ、新しい産業の方向性を理解させる。

- 企業と市が一体となって、資源開発技能の開発を進めるとともに、学校との連携を図りながら、資源の再利用運動の推進に努める。

教育目標番号 51

身近な事物現象に興味関心をもつ。

(1) 目標達成の時期

乳幼児期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 いろいろな物を分けたり、寄せ集めたり、整理したりすることができます。
C	2 日常生活の中で具体的な事物を簡単な数の範囲で数えたり、順番がいえる。
C	3 具体的な物を使って量の大小を比べることができます。
C	4 時刻について興味・関心をもつことができる。
D	5 長い、短かい、広い、狭いなどや前後左右などの位置関係について興味・関心をもつことができる。
C	6 丸や四角などの物の形について興味・関心をもつことができる。
C	7 自然の事象に疑問をいだき、自分で考えようとすることができる。
C	8 身近な動植物の性質や成長などに興味・関心をもつことができる。

(3) 具体策

- 身近な物を使っての分類、整理の指導
- 身近な物を使っての数量関係の指導
- 自然に接する屋外指導の充実
- 動植物の飼育栽培の実践

(4) 目標達成の場とそのかかりわり（教育機能連関）

- 家庭では、さまざまな機会をとらえ、身近なものに家族みんなで積極的に興味をもったり、考えたりする場をつくる。
- 幼稚園、保育所などでは、意図的、計画的指導により幼児の興味・関心を誘い、思考力、創造力、判断力などの素地づくりをする。
- 地域では、幼児の興味・関心、思考力を養うような環境をつくり、温かく見守っていくようにする。

- 家庭を中心として、幼稚園、保育所などとの連携を図りながら、幼児に身近な事物現象について興味・関心をもたせるようにする。

教育目標番号 52

基礎的な知識や技能を習得し、自ら学びとる態度を身につける。

I. 足利市の教育目標

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 相手の話をよく聞くことや相手にわかるように話すことができる。
B	2 相手によくわかるように読んだり、正しく書いたりすることができます。
B	3 自分でよい本をたくさん選んで読むことができる。
D	4 簡単なたし算、ひき算、かけ算、わり算を暗算ですることができます。
D	5 整数・小数・分数の四則計算をすることができる。
D	6 数量やその関係を式・表・グラフなどを用いて表わしたり、調べたりすることができる。
D	7 問題を解決するために見通しをもって考えたり、工夫したりすることができます。
D	8 できるだけ自然に接して、その自然の事物現象から問題を見つけることができる。
D	9 自然の事物現象についての疑問や問題を解決するために、見たり、探したり、育てたり、作ったり、試みたり、考えたりすることができます。
B	10 社会生活について自ら考え、正しく判断することができる。
B	11 社会の一員として自他の人格を認めたり、社会的義務や責任を果たすことができる。
D	12 造形的な創造活動を通して、その美しさや表現の喜びを味わうことができる。
A	13 音楽の美しさを感じとることができるとともに、積極的に表現することができます。
D	14 家庭生活をよりよくしていくために、衣食住に対して創造的な実践をすることができる。

(3) 具体策

- 言語環境の整備
- 図書室の環境整備と図書の充実
- 基礎的な計算力の指導の強化
- 自然に接する機会の充実
- 美的情操を深める指導の強化
- 自ら考え、正しく判断できる指導の強化
- 自ら課題をもって学習や研究に取り組む態度の育成

(4) 目標達成の場とそのかかりわり（教育機能連関）

- 学校では、基礎的基本的事項の指導を重視するとともに、自ら学びとる態度を育成する。
- 家庭では、自然との触れ合いや読書の楽しさに気づかせたり、正しいことば遣いなどを指導する。

- 学校を中心として、家庭との連携を図りながら、自ら学びとる態度を育てる。

教育目標番号 52

基礎的な知識や技能を習得し、自ら学びとる態度を身につける。

(1) 目標達成の時期

青年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 自分の考え方や気持ちを相手にわかるように話したり、他人の話をまちがいなく聞きとることができる。
D	2 時と場に応じた正しいことば遣い、正しい文字や文章を書くことができる。
D	3 基礎的な計算ができる、筋道の通った考え方ができる。
B	4 社会生活に必要な諸問題について、主体的に考え、正しく判断することができます。
D	5 自然現象について、興味・関心をもち探究することができます。
D	6 造形的な創造活動を通して、その美しさや表現の喜びを味わうことができる。
A	7 音楽の美しさを感じとることができるとともに、積極的に表現することができます。

(3) 具体策

- 言語環境の整備
- 自ら考え、正しく判断できる指導の強化
- 道徳教育の指導の強化
- 特別活動の指導の強化
- 美的情操を深める指導の強化
- 自ら課題をもって学習や研究に取り組む態度の育成

I. 足利市の教育目標

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、基礎的、基本的事項の指導を重視するとともに、教科の学習やサークル活動、研究室等での学習を通して、探究的、創造的な態度を育成する。
 - 家庭では、自然との接触、正しいことば遣い、読書ができる環境を整える。
- ◎ 学校を中心として、家庭との連携を図りながら、自ら学びとる態度を育てる。

教育目標番号 53

基本的な生活行動を自分の力で進んで行う態度を身につける。

(1) 目標達成の時期

乳幼児期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
C	1 身近な人のことばや友達の話を親しみをもって聞くことができる。
C	2 絵本、紙しばい、放送などを喜んで見たり、聞いたりすることができます。
A	3 返事、あいさつ、名前など日常生活に必要なことばを正しく使うことができる。
C	4 経験したことや思ったことなどを話すことができる。
D	5 時や場所に応じた声で相手にわかるように話すことができる。
B	6 身のまわりの物を大切に扱うことができる。
B	7 衣服を脱いだり、着たりすることができる。
B	8 遊び道具などを出し入れしたり、整理整とんして片付けることができる。
A	9 自分の物と友達の物を区別することができる。

(3) 具体策

- あいさつに関する習慣化の徹底
- 話し方、聞き方の指導
- 後片付け、整とんに関する指導の徹底
- 自他の区別に関する指導

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、返事、あいさつ、遊具の後片付けなど、基本的な生活習慣や態度を自分の力で進んでとれるように育てる。

- 幼稚園、保育所などでは、集団活動の場を通し、基本的な生活習慣をいろいろな方法で、意図的に指導する。
- 地域では、近所同士の親密なつき合いを通し、幼児たちが一緒に遊べる場を提供する。

- ◎ 家庭を中心として、幼稚園、保育所などとの連携を図りながら、基本的な生活行動を自分の力で進んで行う態度を育てる。

教育目標番号 54

基本的な生活習慣を身につけ、自ら考え正しく判断し行動することができる。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 自分で使ったところをきれいにするために、進んで掃除をすることができる。
B	2 机の上や身のまわりの物を使いやすく整理することができる。
B	3 後仕事を見切ることができる。
D	4 ぬいだ靴などをそろえておくことができる。
B	5 学校の始業時刻に遅れないように起床することができる。
B	6 小づかいの使い方を計画することができる。
D	7 放課後の時間の使い方を自分で決めることができる。
B	8 大人から注意されなくても、ひとから信頼されるような行動をとることができる。
B	9 困ったことにぶつかっても、冷静にその場で処理することができる。
B	10 学習課題を独力で解決しようと努めることができる。
D	11 興味あることに集中することができる。
C	12 親から離れても、ホームシックにならずに生活することができる。
B	13 積極的に物事を考え、創造的に解決しようとすることができる。

(3) 具体策

- 基本的行動様式に関する日常生活指導の徹底
- 全教育活動を通して、自ら考え正しく判断し行動できる態度の育成
- 集団宿泊学習等を通しての、望ましい生活態度の育成

I. 足利市の教育目標

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、思考力、創造力、判断力を育成するために、意図的、計画的指導を進める。
 - 家庭では、基本的な生活習慣や主体的な生活態度を育てるようにする。
 - 地域では、自主・自立の精神を確立する集団活動の場を提供する。
-
- 学校を中心として、家庭や地域との連関を図りながら、自ら考え正しく判断し、行動できる態度を育てる。

教育目標番号 55

日常生活の諸問題に主体的に取り組み、自ら解決していく態度を身につける。

(1) 目標達成の時期

青年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 大人の監督がなくても、勉強や仕事を自分でできる。
D	2 教師や両親に認められなくても、正しいことを進んで実践することができる。
B	3 失敗に対しては、両親に頼ったり、あるいはがしろにしたりすることなく、より合理的に努力して改善しようとする態度を身につける。
D	4 困った問題だけ両親や大人の援助を求めるような態度を身につける。
D	5 自己主張しながらも、家庭の厳しい習慣に従うことができる。

(3) 具体策

- 主体的に取り組む態度を育てる道徳、特別活動の強化
- クラブ活動や各種サークル活動の充実
- 集団宿泊学習の実施
- 過保護、放任風潮の考え方の改善に関する両親講座の開設と参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、将来に生きる主体的な生活態度の育成を図る。
- 学校では、主体的な学習態度の育成を意図的、計画的に進める。
- 地域では、過保護の風潮に対する改善を進める。

- ◎ 家庭や学校を中核として、地域との連携を図りながら、目標をもった生活ができる態度を育てる。

教育目標番号 56

社会の変化に対応できるため、つねに学習し創意工夫に努める。

(1) 目標達成の時期

壯年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 政治、経済、社会の知識の継続的習得に努め、自己の生活との関連において考えることができる。
B	2 創意工夫して、自らの教養を高めることができる。

(3) 具体策

- 足利県立図書館、足利遺跡図書館、移動図書館などの積極的利用
- 公民館の図書室の開放と利用
- 自らの生活を高めるための各種講座の開設と積極的参加
- 広報紙による自ら学習できるための情報提供の促進

(4) 目標達成の場とそのかかりわり（教育機能連関）

- 公民館などでは、社会の変化に対応できるための講座を開設する。
- 市では、学習できる場を提供する。
- 職場では、教養を高めるための研修会を設ける。
- 家庭では、常に教養を高めるために新しい知識を獲得するよう心掛ける。

- ◎ 公民館や職場を中核として、家庭との連携を図りながら、常に学習に努める。

教育目標番号 57

高齢者としての経験を積極的に生かすことができる。

(1) 目標達成の時期

高齢期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 自らの体験を生かしながら地域集団活動に積極的に参加し、互いの向上に努める。
E	2 経験を積極的に生かし、価値ある生活を送ることができる。
B	3 新しい知識を積極的に学ぶことができる。

(3) 具体策

- 高齢者人材活用事業の推進
- 老人クラブへの加入促進と活動内容の充実
- 高齢者のための各種講座の開催と参加
- 広報紙により、経験を積極的に生かせるための情報提供の促進

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 地域では、奉仕活動への参加と活動の場を設ける。
- 公民館では、教養大学や高齢者学級を開設し、参加を呼びかけるとともに内容の充実を図る。
- 市では、高齢者人材活用事業を推進する。
- 家庭では、地域活動へ積極的に参加できるように援助する。
- 家庭では、老人クラブへの加入を勧める。
- 学校では、高齢者の豊かな経験に学ぶ場を設ける。

- 地域と社会教育機関を中心として、家庭や学校との連携を図りながら、高齢者としての経験を積極的に生かすように努める。

教育目標番号 58

自己をみつめ、望ましい生活をしようとする態度を身につける。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 失敗から立ち上がるには、どうすればよいかを言うことができる。
C	2 仲良くするには、どんな心掛けをすればよいかを言うことができる。
D	3 自分中心に考えた行動で、失敗した事例をあげることができる。

- | | |
|---|---|
| D | 4 自分の心をおさえて（がまんして）友人関係がうまくいった事例をあげることができる。 |
| B | 5 欲しいものがあってもすぐに手に入れることをがまんすることができる。 |
| B | 6 他人の言動に左右されず、何が正しく、何が誤りであるかを、自ら判断することができる。 |

(3) 具体策

- 自己統制して望ましい生活をしようとする教育活動の充実、強化
- 金銭教育の促進
- 自己統制のあり方に関する両親学級の開設と参加

(4) 目標達成の場とそのかかりわり（教育機能連関）

- 家庭では、わがままな心をおさえるように指導する。
- 学校では、道徳教育や情操教育の充実を図る。
- 地域では、集団活動の場を通して、自己統制できる子供を育てる。

- ◎ 家庭を中心として、学校や地域との連携を図りながら、自己統制して望ましい生活ができる態度を育てる。

教育目標番号 58

自己をみつめ、望ましい生活をしようとする態度を身につける。

(1) 目標達成の時期

青年前期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 感情に走ることなく、欲望をおさえることができる。
B	2 他人の言動に左右されず、何が正しく、何が誤りであるかを、自ら判断することができる。

(3) 具体策

- 「強い意志、自主自律」の精神を身につける場の設定
- 何でも話し合える楽しい家庭づくりの推進
- 自ら考え正しく判断できる教育活動の実践

I. 足利市の教育目標

- 部活動、サークル活動を通しての望ましい生活態度の育成

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、自ら考え正しく判断できる教育活動を、意図的、計画的に進める。
 - 学校では、部活動、サークル活動を通して、望ましい生活態度を育てるための教育活動を進める。
 - 家庭では、継続的に自己統制のできる人間の育成に努める。
 - 地域では、集団活動の場を設定し、それに参加させたり、よその子供でも正しく指導できたりする体制を整える。
- 学校を中心として、家庭や地域との連携を図りながら、自己統制して望ましい生活ができるように努める。

教育目標番号 59

困難にくじけず、ねばり強くやりとげる態度を身につける。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
A	1 希望を失わず、明るい生活をしようと努めることができる。
B	2 希望を実現するには、困難にくじけずにねばり強く努力しようとすることができる。
B	3 やり始めたことは、最後まできちんとやり終すことができる。

(3) 具体策

- 各種集団生活を通して心の強い子供の育成
- ねばり強くやりとげる態度を育成するための道徳教育、特別活動の充実
- 無気力、無感動、無関心な児童に対する児童指導の充実
- 一人ひとりの子供を生かす場の設定と指導の充実
- ねばり強くやりとげる態度を育成するための家庭教育の充実

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、親子の接触を深めるとともに、家族としての所属感を高めるための方策や、耐性を育てるための教育的な場をつくり実践する。

- 学校では、児童指導を中心として、個性を育てる教育活動を意図的、計画的、組織的に行う。
- 地域では、子どもに夢を与え、強い精神力を育てる集団活動などの機会をつくる。

- ◎ 家庭、学校、地域が一体となって、困難にくじけずねばり強くやりとげる子どもを育てる。

教育目標番号 60

将来を見通して計画的な生活をする。

(1) 目標達成の時期 **青年後期～壮年期**

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 変化する社会に適応するために、生涯を通じて計画的に学習しなければならないことが理解できる。
D	2 自分の将来の社会的役割を認識し、地域での活動に自主的に参加することができる。
D	3 将来の見通しにたって物事を考え、計画し、実行し、さらに反省していくことができる。

(3) 具体策

- 計画的な生活をするための各種講座の開設と積極的参加
- 地域活動の助成と自主的参加
- 図書館などの文化的施設の積極的利用
- 定時制高校、大学などの講座の開放と参加
- テレビ、ラジオなどの教養番組の積極的視聴

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、テレビ、ラジオなどの教養番組を努めて聴取するようとする。
- 社会教育機関では、青年学級講座などで合理的な生活設計についての考え方普及を図る。
- 学校では、計画的な生活をするための指導を行う。

I. 足利市の教育目標

- ◎ 家庭と社会教育機関を中心として、学校との連携を図りながら、将来を見通して計画的な生活をするように努める。

教育目標番号 61

ものを大切にし、資源を有効に活用することができる。

(1) 目標達成の時期

乳幼児期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 身のまわりの物を大切にすることができる。
B	2 おもちゃは、大事に使い、片付けることができる。
B	3 古くなった物でも、大切に使うことができる。
B	4 物を「いのちあるもの」としてみることができる。

(3) 具体策

- 日常の育児や保育での、物を大切にする指導の充実
- 「しつけ60章」の積極的活用

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、物にもいのちのあることを教え、そまつにしない態度を育てる。
- 幼稚園や保育所などでは、学習用具や遊び用具などを大切に扱うしつけを徹底する。
- 家庭を中心として、幼稚園や保育所などとの連携を図りながら、物を大切に扱うようなしつけを行う。

教育目標番号 61

ものを大切にし、資源を有効に活用することができる。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 日常生活で使ういろいろな物を大切にすることができる。

- | | |
|---|--|
| B | 2 物ができるまでの過程を考え、大切に扱うことができる。 |
| B | 3 日常生活で使ういろいろな物を生み出す資源には、限りがあることを理解することができる。 |
| B | 4 資源を生み出してくれる自然に感謝することができる。 |

(3) 具体策

- 物を大切にすることに関する道徳指導や学級指導の徹底
- 物を大切にする日常生活指導の徹底
- 資源は有限であることの理解と指導
- ポスター、作文など資源愛護のための広報宣伝活動への積極的応募

(4) 目標達成の場とそのかかりわり（教育機能連関）

- 家庭では、家族ぐるみで物を大切にし、児童の実践意欲を養う。
- 学校では、資源は有限であることを理解させ、物を大切にする態度を育成する。
- 市では、省資源運動について啓もうし、推進する。

- 家庭と学校を中心として、市との連携を図りながら、物を大切にする態度を育て実践させる。

教育目標番号 61

ものを大切にし、資源を有効に活用することができる。

(1) 目標達成の時期

[青年期]

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 生活目的に合った製品を計画的に購入することができる。
B	2 生活目的に合った製品を有効に使うことができる。
B	3 日常生活の中で、むだをなくし、生活の簡素化を図ることができる。
B	4 資源は有限であることを理解し、大切にすることができる。
B	5 物を生み出してくれる自然や社会に感謝することができる。

(3) 具体策

- 対外依存度の高い資源についての節約意識の指導

I. 足利市の教育目標

- 資源の再利用活動への積極的参加
- 不用品交換会の実施と参加
- 電気、水などを大切に使うことへの積極的協力
- 広報紙などによる啓もう
- ポスター、作文など資源愛護のための広報、宣伝活動への積極的応募

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 公機関では、資源愛護運動の推進を図る。
 - 学校では、資源問題について意図的に指導を進める。
 - 家庭では、生活用品を大切に使う話し合いを通して資源愛護に努める。
 - 職場では、省資源運動を推進する。
- ◎ 家庭、学校、職場が一体となって、節約意識の高揚、積極的な省資源の実践に努める。

教育目標番号 61

ものを大切にし、資源を有効に活用することができる。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 生活目的に合った製品を計画的に購入することができる。
B	2 生活目的に合った製品を有効に使うことができる。
B	3 日常生活の中でむだをなくし、生活の簡素化を図ることができる。
B	4 限られた資源を有効に活用することができる。
B	5 資源の育成を図ることの大切さを理解することができる。

(3) 具体策

- 不用品交換会の実施と参加
- 資源の再利用活動への積極的参加
- 生活用品修理市の開催と参加
- 森林の保護や造林事業の推進
- 消費者モニター制度による市民への情報提供
- 資源愛護の啓発活動、講習会、展示会などの開催と参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、物を有効に使い省資源運動を実践する。
- 家庭では、物を再生して使用するなどして、子供の物を大切にする態度を育成する。
- 地域では、日常生活の簡素化を推進する。
- 職場では、生産上のむだを省き、生産性の向上に努める。
- 市では、省資源、生活の簡素化について啓発し、運動を推進する。

- ◎ 家庭、職場、地域、市が一体となって、省資源の実践に努める。

教育目標番号 61

ものを大切にし、資源を有効に活用することができる。

(1) 目標達成の時期

高齢期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 物を大切にすることを若い世代に教えることができる。
B	2 資源の育成を図る大きさを若い世代に教えることができる。

(3) 具体策

- 生活用品修理市の開催と参加
- 資源愛護の啓発活動、講習会、展示会などの開催と参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、物を有効に使い省資源運動を実践する。
- 地域では、生活の合理化、簡素化について推進し指導する。
- 市では、省資源、生活の簡素化について啓発し、運動を推進する。

- ◎ 家庭を中心として、地域や市との連携を図りながら、物を大切にする指導に努める。

教育目標番号 62

自由時間を作り過ごす。

I. 足利市の教育目標

(1) 目標達成の時期

児童期～青年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
E	1 自然の中での遊びを積極的にことができる。
B	2 サークル活動などに積極的に参加することができる。
E	3 自分に合った趣味・特技を身につけることができる。
A	4 家族ぐるみでの余暇活動に参加し、楽しく過ごすことができる。
B	5 趣味・特技を生かして有意義な余暇を過ごし、また指導することもできる。

(3) 具体策

- 自由時間の有効な過ごし方に関する指導の充実
- 親子ハイキングなどの実施と積極的参加
- 児童公園などの施設の整備と拡充
- 育成会行事などへの積極的参加の指導
- 高齢者も含めた余暇活動の助成と参加
- 公民館や勤労青少年ホームなどの利用促進
- 美術館、図書館の整備、充実と活用

(4) 目標達成の場とそのかかりわり（教育機能連関）

- 家庭では、家族ぐるみで自然や文化に親しむ計画を立てたり、行事に参加したりする。
- 地域では、児童生徒が自然や文化に親しむことのできる場を用意し、その参加を促すようとする。
- 学校では、意図的、計画的に地域の自然や文化に親しませる場を設定する。
- 社会教育機関では、市民が自然や文化に親しむことのできる場の設定と施設の充実を図る。

- 家庭を中心として、地域、学校、社会教育機関との連携を図りながら、自由時間の活用に努める。

教育目標番号 63

進んで計画的に自由時間を活用する。

(1) 目標達成の時期

壮年期～高齢期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
E	1 自分に合った趣味・特技を身につけることができる。
A	2 家族ぐるみでの適切な余暇活動を計画し、楽しく過ごすことができる。
B	3 趣味・特技を生かして有意義な余暇を過ごし、また指導することもできる。
B	4 日常生活を合理化して自由時間の確保、活用に努めることができる。
B	5 自分に合った趣味をもって楽しい自由時間を過ごすことができる。
B	6 時間を有意義に過ごし、生きがいのある生活ができる。
E	7 よい家風や地域の伝統を若い世代の人に伝えることができる。

(3) 具体策

- 自由時間活用のための各種講座の開設と参加
- 各種趣味クラブの発表の場の開設と参加
- 趣味活動への積極的参加
- ボランティア活動への積極的参加
- 高齢者人材活用事業の推進
- 地域の伝統を若い世代に伝える場の設定
- 余暇施設の設置と充実

(4) 目標達成の場とそのかかりわり（教育機能連関）

- 家庭では、余暇活動を理解し協力援助する。
- 地域では、高齢者の体験が生かされるような研修会や同好会を計画的に開設し、高齢者の知識、技能の有効な活用を推進する。
- 学校では、高齢者の知識、技能が有効に生かせる場を設定する。

- 家庭を中心として、地域や学校との連携を図りながら、計画的に自由時間の活用に努める。

教育目標番号 64

身のまわりの情報を整理し、活用する能力を身につける。

(1) 目標達成の時期

児童期

I. 足利市の教育目標

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 学用品、身のまわりの品物、学校でもらった印刷物など必要な品物を分類して整理することができる。
D	2 日常生活の中でいろいろなことを大切なものの順番に並べることができる。
D	3 日常生活の中で使用するものと、それに関係するものを組み合わせることができる。
D	4 いろいろなものや事柄を一つのまとまりとして、ことばに表すことができる。
D	5 出来事を解決するのに必要なことをいろいろな情報の中から選び出すことができる。

(3) 具体策

- 身近な情報を整理する指導の充実
- 情報処理する力を育てる指導の充実
- テレビ、ラジオなどの望ましい視聴の指導

(4) 目標達成の場とそのかかりわり（教育機能連関）

- 学校では、情報の収集・処理・活用について具体性をもたせて指導する。
 - 家庭では、たくさん的情報を使いやすいように処理したり、活用したりすることを指導する。
 - 地域では、情報をできるだけ整理して提供する。
-
- 学校を中心として、家庭や地域との連携を図りながら、情報活動の能力を育てる。

教育目標番号 64

身のまわりの情報を整理し、活用する能力を身につける。

(1) 目標達成の時期

【青年期】

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 いろいろな情報を集め、それをもとに生活に必要な事実や事柄の内容

	をとらえることができる。
D 2	集められた情報を分類・整理して、因果関係・関連性・意味などをとらえることができる。
D 3	集められた情報を分析・吟味して、新たな情報を構成したり、結論を出したりすることができる。
A 4	情報を的確に処理し、誤りなく判断することができる。

(3) 具体策

- 各種モニター制度の充実と市民への情報提供
- 生活学校の開設と参加
- 情報処理に関する広報紙による啓発
- 情報処理に関する各種の講座の開設と参加
- 広報紙などの有効な活用
- テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などの望ましい視聴の指導

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、いろいろな情報の活用法や資料などの集収方法、及びそれらの処理の仕方について指導する。
- 家庭では、放送、新聞、雑誌などの見方や受け止め方を指導する。
- 地域では、自治会、公民館、図書館などの活動を通して、資料の収集と提供に努める。

- 学校を中心として、家庭や地域との連携を図りながら、情報を整理し活用する能力を身につけるように努める。

教育目標番号 65

情報を適切にとらえ、自ら正しく判断し、活用することができる。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D 1	マスコミや多くの関係機関から情報を積極的に収集することができる。
D 2	各種の情報を適切に整理し活用することができる。
D 3	情報を創造し、これを正しく伝えることができる。

I. 足利市の教育目標

B	4 情報を的確に処理し、誤りなく判断することができる。
D	5 情報を組み合わせ、新しい情報を生み出すことができる。

(3) 具体策

- 広報紙などの有効な活用
- 誇大広告などに関する研修会の実施と参加
- 各種モニター制度の充実と市民への資料提供
- 情報の正しい受け止め方に関する研修会の実施と参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、日常生活に関する情報の正しい受け止め方を実践する。
- 職場では、情報の収集、処理、活用を図り、さらに新しい情報を生み出すことができる。
- 家庭や職場が一体となって、情報を適切にとらえ、正しく判断し活用することができるよう努める。

教育目標番号 66

高齢者としての役割を認識し、情報を若い世代に伝えることができる。

(1) 目標達成の時期

高齢期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
B	1 豊かな体験から得た生活の知恵を若い世代に伝えることができる。
E	2 よい家風や地域の伝統を若い世代に伝えることができる。

(3) 具体策

- 豊かな体験で得た生活の知恵を若い世代に伝える場の設定と参加
- よい家風や地域の伝統を若い世代に伝える場の設定と参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 家庭では、豊かな体験から得た生活の知恵を家族に伝える。
- 地域では、集会・広報紙などによって高齢者の貴重な体験などを受け取るよ

うに努める。

- 学校では、高齢者から学ぶ場を設定する。
- 家庭と地域を中心として、学校との連携を図りながら、若い世代へ豊かな体験を伝えるように努める。

教育目標番号 67

日本及び世界の国々に対する関心と理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高める。

(1) 目標達成の時期

児童期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 日本の農業、工業、水産業の現状を知り、我が国の国土と産業について理解することができる。
D	2 日本の歴史を学び、我が国の歴史や伝統を大切にしようとする態度を身につける。
D	3 平和な国際社会の実現のために、我が国が果たしている役割について知ることができる。

(3) 具体策

- 我が国の風土、歴史に関する学習指導の充実
- 我が国の産業と貿易に関する学習指導の充実
- ユネスコ学校への参加
- 外国の文化などに関する展示会への参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、我が国の国土、産業及び歴史について指導し、国際社会に生きる日本人としての素地づくりをする。
- 家庭では、テレビ、雑誌などに接する時や、まわりの人々に接する時に、世界における日本という視野で物事を見たり、聞いたり、行動したりできるよう指導する。
- 地域では、まわりの人々に接する時に、世界における日本という視野で物事を見たり、聞いたり、行動したりできるよう指導する。

I. 足利市の教育目標

- ◎ 学校を中核として、家庭や地域との連携を図りながら、国際理解の芽を伸ばすように努める。

教育目標番号 67

日本及び世界の国々に対する関心と理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高める。

(1) 目標達成の時期

青年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 広い視野に立って我が国の地理や歴史文化などを学び、国民としての自覚を高める。
D	2 世界各国の地理や歴史、文化などを学び、国際社会に生きる日本人としての自覚を高める。
D	3 世界各国それぞれの文化を尊重する態度を身につけることができる。
D	4 諸外国の政治、経済、社会などの国際問題や国際関係の現状を知り、日常生活と身近な関係にあることがわかる。
D	5 国際社会における日本人の果たすべき役割について理解することができる。

(3) 具体策

- 我が国の国土と歴史に関する指導の充実
- 国際社会での日本の役割に関する指導の充実
- 世界の国々の文化や伝統を尊重する指導の充実
- 外国語の指導の充実とその活用の場の設定
- 青年の船、海外派遣事業への協力

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 学校では、社会科やその他の学習を通して、世界における日本という視野から日本及び世界の国々の理解を深める。
- 家庭では、世界の芸術作品（文学・美術・音楽等）やマスコミの情報などを通して日本や世界への関心と理解を深める。
- 地域では、図書館や公民館などの活動を通して、日本や世界の国々の資料の収集・整備・保存に努める。

- ◎ 学校を中核として、家庭や地域との連携を図りながら、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるように努める。

教育目標番号 68

我が国に対する愛情を深めるとともに、世界的視野に立って広く考えることができる。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 我が国と諸外国の生活及び文化の向上に協力する態度を身につける。
D	2 ユネスコなど国際的協力機関の活動について理解し、その活動に協力することができる。
B	3 すべての人々に対して偏見や差別をもたず、基本的人権を尊重する精神と態度を身につけることができる。
B	4 身近な諸問題を平和的に解決し、さらに進んで世界平和の実現に協力する態度を身につけることができる。
B	5 我が国の文化、伝統、歴史、地理などを理解し、国を愛する心をもつことができる。
D	6 國際社会における日本人の果たすべき役割について理解することができる。

(3) 具体策

- 国際理解に関する講演会の開催と参加
- 海外事情の講話の開催と参加
- 外国語を学ぶ場の設定と参加
- 海外派遣事業への協力
- 国際社会における日本の役割に関する各種講座の開設と参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 社会教育機関では、講演会や広報紙などにより国際理解を深める場を設ける。
- 地域では、諸外国の生活や文化についての関心を高める。
- 家庭では、国際理解に関する情報を通じて話し合う場を設ける。

I. 足利市の教育目標

- ◎ 社会教育機関を中心として、地域や家庭との連携を図りながら、世界的視野に立って広く考えることができるよう努める。

教育目標番号 69

国際社会における郷土の産業の果たす役割を正しく理解できる。

(1) 目標達成の時期

壮年期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
E	1 世界経済に関心をもつことができる。
B	2 産業の振興と合わせて、貿易の実態について関心をもつことができる。
B	3 貿易によって各国が共存共栄を図ることについての関心をもつことができる。
B	4 足利市の産業が発展途上国に技術援助をする必要が理解できる。
B	5 発展途上国に技術援助することにより、産業の振興を図ることの必要を理解できる。
D	6 産業の役割を国際的視野に立って理解することができる。
D	7 郷土、国内の産業の振興を図りながら、広い視野に立って職業意識を確立できる。

(3) 具体策

- 経済に関する講演会の開催と参加
- 足利産業展の開催
- 足利の貿易についての資料の刊行と広報紙による提供
- 製品開発のための情報交換の場の設定と参加
- 足利繊維まつりの開催

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 社会教育機関では、国際化社会における産業問題や経済問題についての啓もうを図る。
- 企業内教育では、企業と国際化社会とのかかわりについて啓もう活動を進める。
- 社会教育機関と企業とが一体となって、国際化社会における産業の果たす役

割についての啓もう、啓発活動を推進する。

教育目標番号 70

国際感覚の上に立って、世界の老人の生き方を学ぶことができる。

(1) 目標達成の時期

高 齢 期

(2) 達成目標

タイプ	達成目標
D	1 各国における老人の生活の様子を知り、自分の生き方を考えることができる。
D	2 自分だけのからに閉じこもらず、広く知識を世界に求めることができる。

(3) 具体策

- 世界の老人の生き方に関する高齢者学級の開設と参加
- 外国の老人との交流の場の設定と参加

(4) 目標達成の場とそのかかわり（教育機能連関）

- 社会教育機関では、高齢者学級などにより、世界の老人の生き方が学べるようにする。
- 家庭では、広く知識を世界に求め、自分の生き方を考えるようなふん囲気をつくる。

- 社会教育機関と家庭とが一体となって、世界の老人の生き方を学ぶように努める。